国立国語研究所学術情報リポジトリ

A study of the interpersonal effects of utterances (2): An analysis from the viewpoint of utterance function

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2016-06-15
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 尾崎, 喜光, OZAKI, Yoshimitsu
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001363

発話がもたらす対人効果の研究(2)

― 発話機能を軸とした分析 ―

尾崎喜光

要旨:本研究は,従来の社会言語学的研究ではあまり注目されて来なかった発話がもたらす対人的影響・対人効果という側面について,新聞の投書欄をデータとして用い,日常生活におけるその一端を明らかにすることを目的とする。前稿では,読者に対するそうした投書行動をメタコミュニケーション行動ととらえそれ自体をまず分析したが,本稿では引き続き,「発話」と「効果」の関係そのものについて,発話の持つ機能とそれがもたらす対人効果の方向性(プラス的かマイナス的か)という観点から分析を行なった。その結果次のことが明らかになった。

それに対しく行動勧め><挨拶><感謝><謝罪>(<感想表明>)は、かなりプラス効果に傾くことがわかった。しかし、マイナス効果も全く無いわけではないこともまたわかった。

また<呼びかけ>は,効果が強い場合にはマイナス効果にいくぶん傾くことがわかった。

キーワード:投書 発話機能 対人効果

Abstract: In this study we analyze the interpersonal effects of utterances, which have not received much attention in Japanese sociolinguistics, based on data from readers' columns (letters to the editor). In a previous paper, we analyzed the contributions themselves as a type of metacommunication behavior. In this paper, we analyze the relations between utterances and their interpersonal effects, from the viewpoint of functions of utterances and the directions of the effects (that is, positive or negative).

In such functions as 'action-request', 'action-command', 'assessment-statement' and 'judgment-statement', no trend is found in the directions of the effects.

On the other hand, in such functions as 'action-recommendation', 'greeting', 'thanks', 'apology' (and 'impression-statement'), there is a strong tendency towards positive effects, although there are several cases of negative effects.

Finally, there is a tendency toward negative effects for those 'address' function utterances that produce strong effects.

Key words: readers' column, function of utterance, interpersonal effect

1 はじめに

我々が日常生活で他者に対して行なう発話は、単に情報伝達という機能を果たしてそこで終了するのではなく、発話の結果として、話し相手へ、脇で聞いている第三者へ、あるいは場合によっては話し手自身へと、その発話の関係者にさまざまな波紋を広げて行くものである。

従来の社会言語学的研究では発話の生成の側面に関心が集中し、ひとたび 生成された発話が関係者にどのような影響をもたらしていくかという対人的 な効果・影響という側面には、あまり注目してこなかった。

本研究は、実際に生成された言語表現を踏まえつつも、その先にある対人 効果という側面にまで射程を広げ分析しようと試みるものである。

最終的な研究対象は我々の日常生活全般ということになるが,まずは「発話」と「対人効果」というデータをペアで比較的容易に,しかもできるだけバラエティに富む形で得られそうなメディアということから,新聞投書欄を利用した。すなわち,新聞投書欄の中で,発話およびそれがもたらした対人関係上の効果について比較的明示的に書かれたものをデータとして収集したのである。典型的には,「××した時, $\bigcirc\bigcirc$ さんから $<\cdots\cdots>$ と言われて $\triangle\triangle$ だった。」という発言が含まれている投書を収集したわけである。

日常生活においては対人的インパクトがさほど大きくない発話も当然普通に行なわれているわけであるが、投書から得られるデータは、投書を通じて読者と効果を分かちあいたいと願うほどインパクトの強いものであると言える。また、いかなる内容の投書を採択するかという編集者側の方針も、得られるデータに片寄りをもたらす。 注 ここで得られたデータは、こうした提供者・採択者の選択のプロセスを経たものであり、従って日常の言語生活の縮図を現わしているわけではなく、かなり片寄りのあるデータである。この点については尾崎喜光(1995 a;以下「前稿」)でも既に述べたとおりである。

しかし、そうした制約が伴うデータであるということは認めつつも、そこで語られていることがらも確かに現実の一部であること、そして「発話」と「対人効果」のペアを比較的容易に得やすいという利点から、研究の出発点

として、まずはこうしたデータを用いたわけである。

なお、「対人効果」の中にもいろいろなレベル・側面がありうる。例えば、他者に対しある事態を認知させたり情報の追加や修正を加えるというような認知的レベルでの効果、他者に対し心理的変化を喚起させるような情緒的レベルでの効果、そうした効果を通して他者に対し具体的行動を起こさせるような実質行動レベルでの効果、などが考えられる。本研究では、これらのうち、日常のダイナミックな対人関係に最も中心的・本質的に関係があると考えられる情緒的レベルの効果に焦点を当て、この種のデータを収集した。

さて前稿では、発話の対人的効果を話題にした新聞投書欄への投書行動そのものについて、それをメタコミュニケーション行動ととらえ、投稿者の属性、投稿者と発話者の関係、発話者の属性、効果先、効果の種類などの観点から、この種の言語行動の傾向性を見てきた。いわば収集したデータの外枠を分析したわけである。本稿では、投書された内容そのもの、すなわち「発話」とその「対人効果」の関係そのものについて、発話機能と対人効果の関係という側面から分析を試みようとするものである。

2. データについて

2.1. 本稿で分析の対象とするデータの範囲

データは、『朝日新聞』(東京本社)(1985年1月~1993年12月までの9年間)の投書欄、すなわち「声」「ちょっとひとこと」「小さなかけ橋」「お茶の間発」「読者から」から収集した。得られた投書数は381である。ただし1つの投書に2つ以上のケースが書かれているものもあり、データ数は419である。ケースによっては、2つ以上の焦点になる発話が1つの効果を生んだと見られるものもある(複数人による複数発話が1つの効果;簡や他者の発話により不連続になった一人の人物による複数発話が1つの効果)。こうしたデータは分析が複雑になるため本稿ではひとまず分析の対象から除外した(データ数は330例に絞られる)。さらに、1つの発話が2つ以上の焦点となる文から構成されていたり、0文(つまり無言)から構成されている場合もここで

— 60 **—**

は分析の対象から除外し、1つの発話が1つの焦点となる文から構成される(多くの場合は1発話1文1効果)、分析が比較的容易なケースのみを対象とする。対象となるデータ数は結局226例である。

2.2. データの基本的属性

226 例のデータの基本的属性は次のとおりである。

①投稿者の属性

- 投稿者数(投書数):213。
- · 性 別:男性 46 (21.6%),女性 159 (74.6%),不詳 8 (3.8%)。
- •年代別: 0代1 (0.5%), 10代10 (4.7%), 20代38 (17.8%), 30代51 (23.9%), 40代42 (19.7%), 50代29 (13.6%), 60代29 (13.6%), 70代12 (5.6%), 不詳1 (0.5%)。
- ②発話者の属性等(性別・年代別は「?」付きも含む)
 - 発話者数: 226。
 - 性 別:男性 92 (40.7%)。女性 78 (34.5%)。不詳•渥性 56 (24.8%)。
 - ・年代別: 0代7 (3.1%), 10代19 (8.4%), 20代10 (4.4%), 30代6 (2.7%), 40代6 (2.7%), 50代9 (4.0%), 60代3 (1.3%), 70代以上5(2.2%), 若年39 (17.3%), 中年16 (7.1%), 高年14 (6.2%), 不詳92 (40.7%)。
 - ・投稿者との関係:投稿者本人 18 (8.0%),投稿者以外 208 (92.0%)。

③投稿者の立場

話し手 18 (8.0%),相手(の一人)133 (58.8%),第三者(伝聞者を含む)73 (32.3%),相手か第三者 2 (0.9%)。

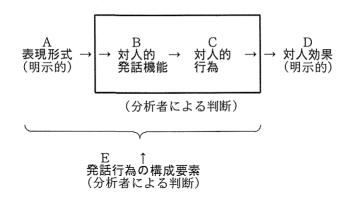
①③については、前稿で報告したオリジナルデータの分布と大きな違いはない。②についても、集計方法が前稿と異なるため簡単に比較しにくいが、やはり大きな違いはないと思われる。すなわち、基本的属性の点からは、ほぼオリジナルデータの縮図と見なすことができる。

3 分析

3.1. 分析の枠組み

発話が対人効果をもたらすプロセスは次のようなものであると考えられる。

まず,ある意味内容を持った<表現形式>(発話)が生成される(下図のAの段階)。その発話は、単に述べられるだけではなく、聞き手に対して何らかの<対人的発話機能>を生成しながら述べられる(Bの段階)。そしてそれは、ことばを越えた何らかの<対人的行為>となる(Cの段階)。その行為が、相手や第三者や話し手自身に対し何らかの<対人効果>をもたらすことになる(Dの段階)。



A B C D

例) コノ傘使ッテクダサイ。 → 勧め → 援助 → ありがたさ

E:雨に降られて困っていた時[場面],通りすがりの関係の人物から[関係],(通常は声をかけられることがないのに)声をかけられ[接触],その人物の傘を持って行くことを勧められた[内容]。【例えば、雨が降っていても相手が傘を持っていて困っていない場合[場面],発話者と相手が家族関係にある場合[関係・接触],日傘を持って行くことを勧められた場合[内容]には、このような効果を生む可能性は小さいものと考えられる】

しかし、本データに観察されるような比較的大きな対人効果がもたらされたのは、その発話行為が、被効果者が持っている基準となんらかの点で異なって発話されたためであると考えられる。いかなる点に問題があったかを考えるにあたっては、〈発話行為の構成要素〉(図のE)に分けてチェックするのが有効であると考える(構成要素については杉戸清樹(1994)による日本語母語話者と日本語非母語話者との誤解のメカニズム解明のための分析枠組みを参考にした)。すなわち、[メッセージ内容][言語行動類型][言語形式][発話の調子][言語コード][発話主体][発話相手][発話主体と発話相手の関係][場面・状況][媒体][言語接触そのもの][その他]という構成要素に分け、当該の発話においてこれらのうち何が問題であったため大きな効果がもたらされたかを考える。

以上のA~Eに注目しながら分析するのが、今回の分析の枠組みである。 なお、A~Eのうち、データの中で明示的なのはAとDである。この部分 の確かさは少なからず保証されている(ただしこれとても投稿者や編集者の フィルターが入っている可能性があることには注意を要する)。

それに対してB(より厳密には $A \rightarrow B$), C(より厳密には $B \rightarrow C$), Eは、今回のデータの中では多くの場合明示されておらず、分析者による判断が介入し客観性が低下してくる部分である。しかし、分析者も日本語社会で生活しており日本語の語用論的ルールをかなりの程度共有していると考えられること、また投書の文面から背景的情報もある程度得ることができることから、分析者の判断にも少なからず妥当性があるものと判断される。例えば、ある状況で発せられた「コノ傘使ッテクダサイ」という発話(A)は「勧め」という対人発話機能を持っている(B)と判断すること、それは「援助」という対人的行為(C)をなしていると判断すること、そしてそれが「ありがたさ」いう言葉で明示される効果を生んだひとつの理由は「通りすがりの関係」という [発話主体と発話相手の関係] のもとで発話されたためであると判断することは、それほど無理の無いことと思われる。ただし全ての事例がこのようにすっきりと割り切れるわけでもなく、分類が難しく今後修正が必要と

なる部分もあろうかと思うが,現段階での判断を一応妥当性のあるものと考え、分析を進めることとする。

32 本稿での分析の視点

以上に述べた $A\sim E$ のうち、いずれかを軸にして分析を進めることが可能である。(なおAとDは、生データのままではバラエティが多過ぎ分析しにくいので、オリジナルデータから離れ過ぎない程度に抽象化して分類する必要がある)

①<対人的発話機能>(B)を軸とした分析

事例に現われた<表現形式>がいかなる<対人的発話機能>を持つかをまず分類し、各<対人的発話機能>が誰に対しいかなる<対人効果>をもたらすかその傾向性を分析する。その際、<発話行為の構成要素>のうち何が通常と異なっていたかにも注目する。なお、<対人的発話機能>と<対人効果>の間に<対人的行為>というステップを入れるべきではあるが、まだカテゴリーの数が多過ぎ(=各カテゴリーに入る事例数が少なくなる)、さらに絞り込むか構成要素に分解するなどの作業が必要であるため、現段階ではここはスキップすることになる。

②<対人的行為> (C) を軸とした分析

分析者により判断された各<対人的行為>が、いかなる<対人的発話機能>により実現されるか(その<言語形式>はどのようなものであるか)、それはまたいかなる<対人効果>をもたらすかについてその傾向性を分析する。その際、<発話行為の構成要素>のうち何が通常と異なっていたかにも注目する。

③<対人効果>(D)を軸とした分析

ある種の<対人効果>はいかなる<対人的行為>により実現されるか,それが発話によってもたらされる場合にはいかなる<対人的発話機能>を持つ発話により実現されるか(その<言語形式>はどのようなものであるか)についてその傾向性を分析する。その際,<発話行為の構成要素>のうち何が通

--- 64 ---

常と異なっていたかにも注目する。ただし、軸とする<対人効果>のカテゴリーの数がまだ多過ぎ(=各カテゴリーに入る事例数が少なくなる)、さらに絞り込むか構成要素に分解するなどの作業が必要であるため、現段階では「効果の方向性」(プラス効果か、マイナス効果、中立効果か)という点からの分析になる。

④<発話行為の構成要素>(E)を軸とした分析

<発話行為の構成要素>のうち通常と異なっているとして問題にされる傾向が強いものはどれか、そしてそれがどのように通常と異なる時に問題とされるか、それはいかなる<対人効果>をもたらす傾向があるか、といったことについて、<対人的発話機能>や<対人的行為>と関連づけて分析する。

以上のうち④については尾崎喜光 (1995 b) で報告した。ただし<対人的発 話機能>や<対人的行為>との関連からの分析はまだ行なっていない。

②③については、すでに言及したように、軸となる<対人的行為><対人効果>の整理がさらに必要と考えられるので、これらは今後の課題とする。本稿では①の視点からの分析を行なう。ただし<対人効果>については、③に述べたようにまだ分析に用いにくい段階にあるので、本稿では主として「効果の方向性」(プラスの効果かマイナスの効果か中立的な効果か)という点から見ていくこととし、<対人効果>の内容そのものと関連づけての本格的な分析は、今後の課題とする。

3.3. <対人的発話機能>そのものについて

得られたデータに観察される発話について、その発話を通じて他者に対し何をなそうとしているかという対人行動論的観点から発話の機能分類をしたところ、次ページ以下のようであった(□で囲ったもの)。小さな数字は度数である。表をすっきりさせるため度数の小さなものはここでは省略してある。太い□で囲ったものは、3.5.で分析の対象とする機能である。

本データの発話は全て対人行動的発話であるが、日常生活では非対人行動

的発話(独り言など)が,発話者が意図することなく対人効果をもたらす場合もあろう。

対人行動的発話の中にも、たまたま本データには認められなかったというものもあろう。例えば1.3.3.1.の「物品提供」に対応する「物品要求」などがそれである。こうしたものを探し出し、効果がもたらされることが少ない発話機能(より厳密には投書欄に現われにくい発話機能)にはどのようなものがあるか、ということを明らかにすることも意味のある作業かと思う。しかし、今の例のように、パラレルな関係から体系の穴を埋めていく作業は比較的容易であるが、パラレルな関係にないものについてまで欠無く完璧に行なうことは、現在の筆者には手には余る作業である。また今回の分析では、いかなる発話機能がいかなる対人効果を産みやすいかという全般的な傾向性についてまず見てみるため、比較的頻度数の多い機能のみを分析の対象にとして取り上げる。そこで本稿では、分析対象とするデータから帰納された分類の部分体系を示すにとどめることにする。

- 1.直接的働きかけ行動149「要求や勧誘や提供などをする」
 - 1.1.要求75〔相手に何かさせる〕
 - 1.1.1.行動47
 - 1.1.1.1. 行動要求 29 (行動依頼 16, 行動命令 13)
 - 1.1.1.2. 行動勧め 18
 - 1.1.2 情報26
 - 1.1.2.1. 情報要求 6
 - 1.1.2.2. 説明要求 6
 - 1.1.2.3. 確認要求 7
 - 1.1.2.4. 同意要求 7
 - 1.2.勧誘3〔自分の行動に相手を巻き込む〕
 - 1.2.1.行動³
 - 1.2.1.1. 行動勧誘 3

- 1.3.提供27「自分が何かする」
 - 131行動8
 - 1.3.1.1. 行動提供 5
 - 1.3.1.2. 行動要求受入れ拒否 3
 - 1 3 2 情報17
 - 1.3.2.1. 情報提供 ⁸ (教示 ⁴, 事実報告 ⁴)
 - 1.3.2.2. 説明提供 9
 - 1.3.3.物品2
 - 1.3.3.1. 物品提供 2
- 1.4 調整45 「自分と相手との調整をする」
 - 1.4.1. 対人関係調整 ⁴⁵ (「呼びかけ」¹¹, 挨拶」⁹, 感謝 ¹⁶, 謝罪 ⁶, 応答 ³)
- 2.間接的働きかけ行動62〔心理的表明をする〕
 - 2.1. 評価表明 20 (| 評価表明 17, | 慰労表明 3)
 - 2.2. 認識表明 7
 - 2.3. 判断表明 22
 - 2.4. 感想表明 13
 - 2.5. 意志表明 5
 - 2.6. 事実表明 3
 - 2.7. 希望表明 2

3.4. <対人効果>そのものについて

<対人的発話機能>に対して従属変数となる<対人効果>そのものの基本 的属性および効果の種類(方向性)は、次のようであった。

①効果先(効果先が複数である場合もある)

相手 164 (67.8%), 第三者 67 (27.7%), 話し手自身 11 (4.5%)。

②効果先と投稿者との関係

相手としての<投稿者>136(58.6%)

話し手としての<投稿者>10(4.3%)

第三者としての<投稿者>59(25.4%)

相手としての<投稿者以外>26(11.2%)

話し手としてのく投稿者以外> 0 (0.0%)

第三者としての<投稿者以外>1 (0.4%)

③言語行動以外で効果をもたらしたもの("行動が効果をもたらしたと判断される事例数"/"行動の存在が確認できる事例数")

パラ言語 (33/34), 非言語 (29/30), 実質行動 (46/50)。言語行動のみが 効果 128。

④効果の種類

実際の効果は複合的であり、また言葉で十分表現しきれないことも少なくないであろう。しかし、客観的な分析を確保するために、情報の限界は認めつつも、文面に明示された表現を手がかりに効果の分類を行なう必要がある。何等かの意味で「プラス」であるか「マイナス」であるか「中立」であるかという点からまず大分類し、さらに類似した表現を整理したところ次のようになった。頻度の高い効果とその度数を掲げるが、ラベル(および整理)については暫定的であり、今後再考の余地がある。

- ▲プラスの効果(129): うれしさ(36), 感動(27), ありがたさ(15), 温まり (12), なごみ(10), 安堵(5), 感激(5), 爽やかさ(4)
- ▲マイナスの効果(79):不愉快(16), 驚き [「あきれ」等](8), 恐れ(6), 立腹(4), 恥かしさ(3)
- ▲中立の効果(10):驚き [「態度変化」等](3)
- ▲マイナス~中立の効果(7)
- ▲複合的な効果(5)

前稿で報告したオリジナルデータと比べ分布はおおむね同じである。ただ し④については、オリジナルデータよりも「プラスの効果」に傾く(オリジ ナルデータではプラスとマイナスが半々程度)。ひとつの原因として、ほとん どの場合マイナス効果をもたらした0文(つまり無言)が今回のデータに含まれていないことが考えられる。

3.5. <対人的発話機能>と<対人効果>の関係について

分類の結果を付表として本稿の末尾に掲げる。

表の見方などについてコメントを加えておく。

この表は、左から3つ目の項目である「対人的発話機能」によりソートされている。3.3.で示した体系に出てくる順番で並べてある。

発話そのものは「主部内容」と「述部内容」に分析し、その発話が、何についてどうだと言っているのかを簡潔に示した。このうち「主部内容」は、データに明示されておらず分析者による補いであるケースが少なくない。「述部内容」も分析者による要約や周辺的情報の切り捨てが含まれている。

「対人的発話機能」は3.3.に示した分類である。判断に多少迷いがあるものには「?」が付いている。

「述部末尾形式」は、「対人的発話機能」が具体的にどのような形式により表現されたか、述部の末尾の部分を示したものである。テンス・アスペクト・ヴォイス・認め・待遇・終助詞などもできるだけオリジナルのままを示し、もとの形式が分かるようにした。なお直前の品詞は、[名](名詞)、[動](動詞)などのように、[]で括って略称で示してある(活用形の表示は基本的に省略)。<方言>などは、語形に対する注記である。「~」は省略を意味する。「?」は質問文であることを意味する。分析者の判断の迷いではない。

「対者行為の方向性」は、その発話を通しての<対人的行為>(3.1.0C に当る局面)が、主として相手に対して「友好的」な行為であるのか(\bigcirc 印)、「対立的」な行為であるのか(\bigcirc 印)、「中立的」な行為であるのか(\bigcirc 印)を、分析者の判断により示した。直接の話し相手に対してと、脇にいる第三者に対しての方向性が異なる場合もある。

「効果先」は、「相手」か「第三者」か「話し手」の区別を示す。複数の立場の人物に効果がもたらされていることが明示されているデータも時にはあ

る (例えば相手と第三者)。次に述べる「効果(抽象)」が、効果先により異なる場合は、「①、②」と区別して対応関係が分かるように示した。

「効果 (抽象)」は、生データを分析者の判断で抽象化し、ラベルを貼ったものである。まだバラエティが多過ぎるため本稿では分析に用いないが、現段階でどのように整理されているかを示した。今後さらにカテゴリの数を絞り込んだり、ラベルの妥当性を再検討する必要がある項目である。

「効果 (+-)」は,「効果 (抽象)」が対人的にどういう方向性を持つものであるかを,「プラス (+)」「マイナス (-)」「三角 (\triangle) [=中立的]」の 3つのカテゴリで示した。

「非言語効果」「実質行動効果」は、それらが存在することが文面から明らかであり、かつ<対人効果>に寄与していると分析者により判断された場合に〇印を付けた。

それ以下右側の12項目は、<発話行為の構成要素>のうち、何が<対人効果>に寄与していたかを、これも分析者の判断により示したものである。これらの項目もまだ再考の余地がありそうである。

「内容」はメッセージ内容,「行動」は言語行動類型,「形式」は言語形式,「調子」は発話の調子,「コー」は言語コード,「主体」は発話主体,「相手」は発話相手,「関係」は発話主体と発話相手との関係,「場面」は場面・状況,「媒体」は媒体,「接触」は言語接触そのもの,「他」はその他である。「調子」は,どのような調子の発話であるかが明示され,かつそれが効果をもたらしたと判断された場合にのみ〇印が付く。「恐らくこのような調子であろう」といったような"読み"は、ここでは行なっていない。

これらの項目に○印が付くというのはどのようなことであるかについては、次のとおりである。「…」の右側は、効果先として最もポピュラーなく聞き手>を視点とした記述である。

- ①<メッセージ内容>…コンナ内容ヲ言ワレタタメニ
- ②<言語行動類型>…コンナ言イ方ヲサレタタメニ [例:依頼→命令,依頼→認識表明,感謝→慰労,謝罪→説明要求]

- ③<言語形式>…コンナ言イ方ヲサレタタメニ「例:オバアチャン]
- ④<発話の調子>…コンナ声ノ調子デ言ワレタタメニ
- (5) < 言語コード>…コンナ言語体系デ言ワレタタメニ
- ⑥<発話主体> (その人自身の属性 [性別・年齢・職業・心身特徴・経験・ 日常の言動]) …コンナ人カラ言ワレタタメニ
- (7) < 発話相手> (同上) …コンナ人ニ対シテ言ワレタタメニ
- ⑧ < 発話主体と発話相手との関係 > …コンナ関係ノ相手カラ言ワレタタメ
- ⑨<場面・状況>…コンナ場面ヤ状況デ言ワレタタメニ
- ⑩<媒体>…コンナ媒体デ言ワレタタメニ「例:電話→直接]
- ⑪<言語接触そのもの>…ソモソモ声ヲカケラレタタメニ
- (2)<その他>…時代、タイミング、頻度、など。

このように整理されたデータをもとに、<対人的発話機能>を分析の軸としながら、<対人効果>との間にいかなる傾向性が認められるか観察していくことにする。ただし、<対人効果>の側については、「効果(抽象)」にまだ再考の余地があるので、本稿では効果の方向性(「効果(+一)」)との関連を見ていくにとどめる。また、<対人的発話機能>の側についても、事例数が多く傾向性がある程度見やすいものについてのみ見ていくことにする。すなわち、<行動依頼><行動命令><行動勧め><挨拶><感謝><呼びかけ><謝罪><評価表明><判断表明><感想表明>に限定して見ていくことにする。とにする。

3.5.1. <行動依頼>と<対人効果>の関係

事例数は16。内訳は、プラス9、マイナス3、マイナス~中立3、マイナス&中立(2種の効果)1であった。ややプラスに傾くが、マイナス~中立などを考慮すると、決定的な片寄りと言うほどではない。プラス・マイナスいずれも普通にありうることである。

プラス効果は、相手や第三者の利益のために相手に行動を起こさせること

を < 依頼 > の形で表現するというのが目立つようである(通し番号 2 、 3 、 5 、 6 、 8 、 11)。 < 依頼 > というと典型的には、発話者の利益のために相手に自発的に行動を起こさせるという事態が想起されるが、日常の対人効果(プラス)という点からは、他者の利益のために相手に行動を起こさせるという事態の方がより重要と言えそうである。

なお、<依頼>によりプラス効果がもたらされたのは、特に[内容][場面] [接触]において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。例をひ とつ掲げる。〈 〉内の数字は付表の通し番号である。「→」の左側の部分が 発話の引用、右側が効果先および具体的な効果の引用である。それぞれ下線 が、焦点であると判断された部分である。

例1)〈3〉状況:相手としての投稿者がバスを降りようとして料金を800 円分多く入れてしまった時バスの運転手が言った。

「『…乗客の皆さんから、料金の前払いをいただいて、おつりをあげるから待っていてください』」→相手(投稿者)「寒風の中を歩きながら、心がほかほかと温かくなった。」(声、1990.03.03)

マイナス効果は、自分の損益がさらに進行するのを阻止するのために相手の行動を非難しやめさせることを〈依頼〉の形で表現するというのが目立つ(通し番号 12, 13, 14, 15, 16)。そしてそのような効果がもたらされたのは、特に [内容] [調子] において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。

例 2) 〈12〉 状況:相手としての投稿者が寿司屋に入り、ネタの書かれたビラを指で差しながら注文していた時。

「『<u>指差して注文しないでくれ。</u>不愉快になるから』」→相手(投稿者) 「一瞬<u>あ然</u>…」「こちらも<u>不愉快になった</u>ので<u>店を出ました</u>。」(お茶の 間発, 1991.09.10)

3.5.2. <行動命令>と<対人効果>の関係

事例数は13。内訳は、プラス7、マイナス6であった。効果の方向性には

大きな片寄りは認められず、プラス・マイナスいずれも普通にありうること がわかる。

プラス効果は、相手や第三者の利益のために相手に行動を起こさせることを<命令>の形で表現するというのが目立つようである(通し番号 17, 21, 22, 23, 24)。先の<依頼>と同様,<命令>も典型的には、発話者の利益のために発話者の権威により相手に行動を起こさせるという事態が想起されるが、日常の対人効果(プラス)という点からは、他者の利益のために相手に行動を起こさせるという事態の方がより重要と言えそうである。

なお、<命令>によりこのような効果がもたらされたのは、特に[内容] [関係] [場面] [接触] において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。

例3)〈17〉状況:投稿者が自転車で転んで大けがをしたため家族の生活が一変した。早朝と夜遅くまでの家事を長期間続けてもらった娘に「ごめんなさいね」と言った時。

「『<u>それは言わないことね</u>』」→相手(投稿者)「本当に<u>うれしかった</u>。」 (声、1989.04.24)

マイナス効果は、これも<依頼>と同様、自分の損益がさらに進行するのを阻止したり任務を遂行するのために相手の行動を非難しやめさせることを<命令>の形で表現するというのがやや目立つ(通し番号 25, 26, 27, 28, 29)。そのような効果がもたらされたのは、特に[内容][調子] において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。

例 4) 〈28〉 状況:何かの競技を終えた女子高校生とおぼしき姿が大勢見え る市営グラウンドから、スピーカーに乗った大きな声を投稿者が聞い た。

「『<u>おまえら</u>,早く帰れ。何してんだ』」→第三者(投稿者)「…一瞬 わが耳を疑った。…なんとも乱暴な,汚いしゃべり方ではないか。」(声, 1988.08.25)

3.5.3. <行動勧め>と<対人効果>の関係

事例数は18。内訳は、プラス15、マイナス1、中立1、プラス&プラス(2種の効果)1であり、プラスの方向に大きく傾く。これは、相手の利益のために自分の所有物や権利を分与したり貸与したりという分与貸与行動がく行動勧め>として表現される傾向があるためである(通し番号30,31,32,33,35,38,39,40,42,43,44)。また、こうした効果がもたらされたのは、特に[内容][関係][場面][接触]において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。なお、<勧め>に伴う実質行動としての分与貸与行動そのものも、ほとんどの場合同時に効果をもたらしているものと考えられる。

例 5) 〈30〉 状況:投稿者が井の頭公園へ車で遊びに行った。公園の駐車場が空くのを待っていた時,乗せていた子供が自分の孫くらいでかわいいと思った初老の男性が近づいてきて言った。

「『よかったらうちの駐車場を使いなさい』」→相手(投稿者)「このご親切な方に改めて感謝しました。」(ちょっとひとこと,1985.04.24) <勧め>によるマイナス効果というのは事例が少ないが,全くないわけではない。たとえ相手の利益を思っての<勧め>であっても,それが相手にとって迷惑になる場合にはマイナスとなる。

例 6) 〈45〉 状況:結婚して六年目になるが子どもができない投稿者が、子 供が出来たかと聞かれ、さらに追い打ちをかけるようなアドバイスを受 けた。

「『病院へ行って検査したら?』」→相手(投稿者)「『余計なお世話だ』と心の中でつぶやきながら…何げない言葉や態度が人を傷つけやすく、プレッシャーを与えてしまうこともあるのだと自覚すべきである。」 (声, 1993.06.16)

3.5.4. <挨拶>と<対人効果>の関係

事例数は9。内訳は、プラス8、マイナス1であり、プラスの方向への大きな片寄りが認められる。<挨拶>により当事者間にマイナス効果がもたら

されるということは基本的にはなく、もたらされるとすればプラス効果ということである。こうした効果がもたらされたのは、特に [関係] [場面] [接触] において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。

例7)〈104〉状況:投稿者が伊豆の田舎に行って学校の近くの道を歩いていた。下校する15人程度の小学生の集団とすれ違った時に一人ひとりから言われた。

「『こんにちは』」→相手(投稿者)「私の方もうれしくなって…その日は一日中すがすがしく,気持ちがよかった。」(声,1993.09.28)

なお、マイナス効果も全くないわけではなく、表現形式としては<挨拶> だが真の行動意図はからかいである場合などがそれである。

例8)〈112〉状況:投稿者が外国人の夫(ニュージーランド出身)と道を 歩いていて小学生たちとすれちがった時。

「『<u>ハロー, ハロー</u>』」→第三者(投稿者:妻)「こんな<u>不愉快</u>な経験を…」(声, 1993.04.04)

3.5.5. <感謝>と<対人効果>の関係

事例数は16。内訳は、プラス15、マイナス~中立1であり、これもプラスの方向への大きな片寄りが認められる。<感謝>により当事者間にマイナス効果がもたらされるということも基本的にはなく、もたらされるとすればプラス効果ということである。こうした効果がもたらされたのは、特に[行動(言語行動類型)][主体][場面][接触]において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。[行動]が通常と異なるというのは、現代の日本語社会で<感謝>が義務的には要求されない(=言語行動がゼロであってかまわない)にもかかわらず<感謝>をしたというものである。

例 9) 〈124〉 状況: JR 御茶ノ水駅ホームで、駅員と数人の通りすがりの男性が、車いすの男性が階段を上がるのを手伝っていた。投稿者も駅員に申し出たものの女性なので断わられた。しかし後からついて行った。階段を上がったところで駅員が手伝った人(投稿者も半ば含む)に言った。

「『大変ありがとうございました』」→相手?,第三者?(投稿者)「私にもお礼をいわれたみたいで,とてもうれしくなった。」(声,1992.09.07)

なお、マイナス的な効果も全くないわけではなく、例えば、相手の<感謝> 行動が、自分に日頃<感謝>行動がないことを気付かせ、自分自身を恥かし く思わせる、などといった場合がそれである。

例10) 〈128〉 状況: 歯磨きを終えて洗面所の蛇口をしめ忘れた娘に対して, 投稿者が「また! 水を流しっぱなしよ!」とどなって注意した時。

「『あ! お母さん、<u>教えてくれてありがとう</u>』」→相手(投稿者)「まだ小一の娘だが、子に教えられるとはこういうことか、と<u>自分が恥ずか</u>しくなった。」(声、1989.01.17)

3.5.6. <呼びかけ>と<対人効果>の関係

事例数は11。内訳は、プラス3、マイナス6、マイナス~中立1、プラス&マイナス(2種の効果)1であった。マイナス効果への片寄りがいくぶん認められる。日常生活で〈呼びかけ〉という言語行動により大きな対人効果がもたらされる場合は、プラス効果よりもマイナス効果の方がどちらかと言えば多いということを反映しているのかもしれない。

マイナス効果で多いのは、年配の他人に対する呼称である(通し番号 135, 136, 137, 138)。

マイナス効果は、[形式] [相手] において通常と異なっていたためという 傾向性が見られる。つまり、こういう属性や呼称基準を持っている相手に対 しこういう形式で呼びかけたためにマイナス効果がもたらされた、というも のが多い。

例11)〈135〉状況:相手としての投稿者がバス停にいた時,通りすがりの 男性から本屋が近くにないか尋ねられた。

「『<u>おばあさん</u>,この辺に大きな本屋があるけ』」(甲州弁?)→相手

(投稿者)【無し;「実は向かい側に…」】(声, 1991.09.22)

事例数は少なくなるが、プラス効果についても、[形式] [相手] において 通常と異なっていたためという傾向性が見られそうである。次に掲げる例は、「おばあちゃん」と呼ばれるのが一般的である状況において、「姓+さん」で 呼ばれたことによるプラス効果の例である。先のマイナス効果で多かった年 配の他人に対する呼称と対照的なケースである。

例12)〈129〉状況:投稿者の母が病院に入院していた時,ある若い看護婦が母親に呼びかけた。

「『田中さん』」→第三者(投稿者)「『ああ,この人は母を一個の人 <u>格として認めていてくれる</u>んだな』と思ったのである。」(声, 1989 02 23)

3.5.7. <謝罪>と<対人効果>の関係

事例数は6。内訳は、プラス4、マイナス1、プラス&プラス(2種の効果)1であり、プラス効果への片寄りが認められる。<謝罪>により当事者間にマイナス効果がもたらされるということは基本的にはなく、もたらされるとすればプラス効果ということである。こうした効果がもたらされたのは、特に[場面][接触]において通常と異なっていたためという傾向性が見られる。例13)〈141〉状況:投稿者がコピーをとりにコンビニエンスストアに行った時、先客がいたので少し離れた所で待っていた。五、六分たって、コピーを終えた先客が投稿者に言った。

「『終わりました。<u>お待たせしてすみません</u>』」 \rightarrow 相手(投稿者)「それが何ともいえずいい感じで,こちらも自然に顔がほころびました。…相手を思いやるちょっとした言葉をかけあうことで,その場が何と<u>和やかになる</u>でしょう。」(声,1993.02.07)

なお、マイナス効果も全くないわけではなく、弱者の謝罪を脇で聞いていて痛々しく感じる、などといった場合がそれである。

例14) 〈144〉状況:投稿者がバスを待っていた時,前を通り過ぎようとした足の不自由な若い女性が転んだ。その瞬間,持っていた杖とバッグの中身が地面に散らばった。反対側から来たおばあさんがそれを拾い出し,拾ってあげなければと思いつつできずにいた投稿者もようやく一歩前に出た時,転んだ女性が投稿者やおばあさんに繰り返し言った。

「『ごめんなさい, ごめんなさい』」→相手(投稿者)「とても<u>痛々しかった</u>。…でもあの女性のようにいつも周囲に気を使い, 人の目を気にして, 落ちつかない日々を過ごしている人もいるだろう。」(声, 1993.10.16)

3.5.8. 〈評価表明〉と〈対人効果〉の関係

事例数は17。内訳は、プラス9、マイナス8であり、大きな片寄りは認められない。プラス・マイナスいずれも普通にありうることがわかる。評価がプラス・マイナス両方ありうるので当然の結果ではある。

プラス効果は、主部内容が相手や相手に関することがらであり、述部内容がそれに対する肯定的評価によりもたらされている。すなわち [内容] が通常と異なっているものである。その他、[相手] [場面] が通常と異なっていたためという傾向性も見られる。

例15)〈157〉状況:投稿者の娘が小学校三年生の時(約30年前)のこと。 転校してまだ間もない頃,友達もできず学校にもなじめずにいた時,前 の学校では中くらいの成績だった投稿者の娘が,国語の書き取りの時間 に先生から褒められた。

「『字がきれい』」【分析者注:そのままの発話ではない可能性あり】 →相手(投稿者の娘)「『でも、今度の学校なら、私だってやればできる かもしれない』…自発的に勉強するようになりました。…中学ではトッ プクラス。」(小さなかけ橋、1987.02.06)

マイナス効果は、相手や相手に関することがらに対する否定的評価によってもたらされる傾向性が見られる(通し番号 160, 161, 162, 163, 164, 165)。

やはり「内容」が効果をもたらしている。

例16)〈161〉状況:投稿者が小学生の頃,運動が苦手で跳び箱を跳べなかった時に担任から言われた。

「『<u>あんたは何をやらせてもダメ</u>』」→相手(投稿者)「<u>以来すっか</u> りスポーツというものから遠ざかってしまった。」(声, 1989.06.17)

3.5.9. <判断表明>と<対人効果>の関係

事例数は22。内訳は、プラス8、マイナス10、中立4であり、効果の方向性には大きな片寄りは認められない。プラス・マイナスいずれも普通にありうることがわかる。

プラス効果は、自分が示した否定的な判断(おもに自己に関することがら)に対し、相手が逆に肯定的な判断を示す場合というのがやや多い(通し番号173、176、178、182)。すなわち「内容」が通常と異なっているのである。

例17) 〈182〉状況:双子の子供が部屋中おもちゃを散らかして、どこから 片付けようかとせっかちなタイプの投稿者がキイキイしていた時、おっ とりタイプの夫が言った。

「『病気で寝ているよりましだよ』」→相手(投稿者)「単純な私は,その言葉で,気持ちを切り替え頑張ってしまう。」(声,1988.12.13)マイナス効果は,自分が持っている判断と対立する判断を相手が示した場合というのがやや多い(通し番号 185, 186, 191, 192)。やはり[内容]が通常と異なっているのである。

例18) 〈192〉状況:ボランティア活動での奉仕を日頃から考えていた投稿 者が,無理なくやれそうな仕事を近くの大病院がボランティアとして求 めていることを市報で読み,さっそく電話してみた。病院側で説明をす ると指定した日時にたまたま行けないことを告げた時。

「『そんなに忙しいのなら、それ以上がんばってやって頂くこともありませんから』」 \rightarrow 相手(投稿者)「少々がっかりしてしまいました。」 (声、1985.03.08)

3.5.10. <感想表明>と<対人効果>の関係

事例数は 13。内訳は、プラス 9、マイナス 4 であり、ややプラス効果に傾く。

プラス効果は、相手の存在や行動や状態などに対して支持的感想を表明する場合というのがやや多い(通し番号 195, 196, 197, 198, 199, 200)。共感的な支持的感想というものもいくつかある(通し番号 195, 196, 199)。やはり[内容]が通常と異なっているのである。その他,[関係]が通常と異なっているという傾向性もやや見られる。

例19) 〈197〉状況:投稿者が会社主催の忘年会に二十分も遅れ、社長のあいさつの途中でこそこそと下座に座った。宴も半ばになり座がにぎわってきた頃、大声で社長に呼びつけられ「遅刻するとは何事ぞ」とカミナリを落とされ、すっかり恐縮して消え入りそうな気持ちになったあとで、付け加えて言われた。

「『<u>あなたがいなかったら寂しいのだ</u>』」 \rightarrow 相手(投稿者)「…宴も引けて寒風吹きすさぶ外に出たが,風がさわやかだった。こんなに素晴らしい言葉があっただろうか。…貴重なことを教わった喜びでいっぱいだった。」(声,1985.12.05)

マイナス効果は、事例数が少なく確定的なことは言えないが、相手の行動や状態に対し否定的感想を表明する場合というのがやや多いようである(通し番号 206, 207)。やはり「内容」が通常と異なっているのである。

例20)〈207〉状況:投稿者が仕事帰りに友だちと連れ立って、結婚した知 人の新居に遊びに行った時、そこにいた見知らぬ男性たちが聞こえよが しに言っているのが耳に入った。

「『主婦なのによく,こんなに夜遅くまで出かけていて,だんなは何も言わないな』」 \rightarrow 第三者 [脇の聞き手?] (投稿者) 「…非常に不愉快な思いをした。」 (声,1993.03.01)

4. まとめ

以上, 収集したデータに事例数が比較的多く見られた 10 種の対人的発話機能について, それらと対人効果の方向性との間にいかなる傾向性が認められるか観察してきた。

<行動依頼><行動命令><評価表明><判断表明>は、対人効果の方向性に特に片寄りが認められず、プラス・マイナスいずれも普通にありうることが明らかになった。分析の対象としたデータの背後にある日常の言語生活一般においても、そのようなものであろうと推測される。

一方、<行動勧め><挨拶><感謝><謝罪>(<感想表明>)は、かなりプラス効果に傾くことが明らかになった。日常の言語生活一般においても、概してそのようなものであると推測される。しかし、マイナス効果も全く無いわけではないこともまたデータから明らかになった。

また、<呼びかけ>は、マイナス効果にいくぶん傾くことが明らかになった。日常の言語生活一般においては、プラスにせよマイナスにせよ、大きな効果をもたらすことなく用いられているのが普通であると推測されるが、効果が強い場合は、どちらかと言えばマイナス効果の方が多いということを反映しているのかもしれない。ただし、<呼びかけ>の場合、積極的に新聞に投書しようという場合は、プラス効果よりもマイナス効果を経験した時の方が多いとも推測されるので、確定的なことは言えない。

言語研究においてこれまでほとんど射程に入っていなかった「対人効果」という側面にまで、新聞投書欄をデータとして今回分析を試みたわけであるが、本データに関してだけでも、まだまだ課題は多い。本稿では、対人効果とは言え、プラス・マイナスの方向性を見るに留まったし、また、誰の発話であるか、誰に対する効果であるかという点も特に考慮しなかった。今後はこうした点についても、精密な分析を進めて行く必要がある。

また、今回データとして用いた新聞投書欄も、さまざまな制約から、データとしての片寄りが予想され、単純に日常の言語生活の縮図と見るわけにはいかない。日常生活では対人効果の点で中立的な発話の方がむしろ多く行な

われているであろうことからすると、今回のデータはかなり局所的な部分を拡大したものと考えられる。今後は、日常の言語生活の中からいかに<効果>を収集するかも、大きな課題である。

注 おもなデータソースとした「声」については、掲載された投書は、用字・用語の誤りや客観的事実(事件の起きた年など)の誤りを訂正することはあっても、それ以外については投稿者が書いたとおりに載せているとの回答を「声」編集部より得ている。本稿で問題にする「発話」と「対人効果」の記述についても、投稿者の表現が掲載の段階でリライトされるということは基本的に無いようである。

尾崎喜光 1994 「対人効果の社会言語学」『日本語学』13-10.

尾崎喜光 1995 a 「発話がもたらす対人効果の研究(1)―投書におけるメタコミュニケーション行動の分析―」『国立国語研究所報告 110 研究報告集』16.

尾崎喜光 1995 b 「新聞投書欄を資料とした発話の対人的影響の分析」『日本グ ループ・ダイナミックス学会 第43回大会 発表論文集』

杉戸清樹 1994 「事例データ収集の枠組み」 西原鈴子他著『在日外国人と日本 人との言語行動的接触における相互「誤解」のメカニズム』(科学研究費報告 書).

付 記

本稿の概要を発表した国立国語研究所研究部会議 (1995年10月18日)では、同僚諸氏よりたくさんのコメントをいただいた。それにより、本稿を当初よりもより分かりやすい形に書き改めることができた(特に本稿の位置付けについて)。記して感謝申し上げる。ただし、筆者の非力ゆえに本稿に反映できず今後の課題としたコメントもある。

新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

- 1	~	-		ļ														- 1		- 1				
	余寶高物果 実践行動物果 內容 行動 形式 調子 コー 主体 相手 闘祭 靖面 盤体 機勢	00		0	0	0	0				0									0	0	0	0	0
	益			<u> </u>																				
	雪		0		0	0	0				0							0			0	0	0	0
	型型 序版						00		0		0	0			0						0	0	0	0
	苷	c.					0	0								0	0	0						
	益	0								0	0			0					П	0				
	7																							
	5年	0										0	0		0	0					0		0	0
	†4 22	0														Г								
	鸖											0~												
	윰	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0		Г	0	Ō	O	0	0	0	0	0
	ᢢ						Г																	
	1111		0			0	0						0									lo	0	
	84	_	<u> </u>	\vdash		_	۲	-		Н			-			-			Н	-			<u> </u>	
	機関			İ									:											
,	444;			ļ			_			_					_	ļ				_				
	1								1					1	⊘ γ									
利耳は音像による光品のスシj人メクj示0フフ	() [+ +	+	+	+	+	+	+	∇-	∇-	+ _	1	1	∇_	∇%-	1	+	+	1	+	+	+	+	+
3						5		ありがたさ/感動(娘 への配慮への)				蘇き(あきれ)/不倫 快/店を出た(食べず に)			繋き & 考えさせられ		П			21	8	6		
K						繋き(意外さ)/温かさ(地方の)		(B)				天义			45				心が暗くなる思い	励まされ/頑張れた	うれしさ(他人への 関わり)	ありがたさ/温まり		
	効果(抽象)					(¥U _		ありがたさ/慰 への配慮への)		귾		5 5 5		£	10				10	98	Ēγ	嗯		
5 1	総の	30		atu		40	भा	となる		ټ	\$0 2)	和田	表	댪	於	ఉ	21,	xı,	1,2	2	***	10 27	11) 10	10 2)
1	泵	جا	9	6		(海	ڎ	が、配配		3	ψį	が発	S	4	જે	Ó	۲	ڎ	温	10	عَدِ	7,7	24.7	1,42
Ŕ		安橋 うれしさ	留まり	気やかさ	京	繋き(意外; さ(地方の)	うれしさ	あり	危惧	回路いい国	ありがたさ	落大さ	添たい場に	あきれ(啞然)	松線	自責の念	うれしさ	うれしさ	(7)	は	うれし 関わり	50	ありがたさ	ありがたさ
3	-		1742	1000									~	-		-			-	_				
ᇤᅵ	効果先			相手3、第三者3	第三者	第二番	第三者	梅	第三者		終 [1] 神				第三者	話し手	相手	护	#7		松川帯	選 [三	部 [1] 抽	第三番
ē	Ŕ	事事	華	田 川	鮾	娯	誤	採	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	相手	[1] [2]	相手	相手	推		3	111	110	1	相手	標	[]] [#2	(3) (30	經
6	\vdash		-	1				V-1		-			-	740		Г			-	75				~ 8
2	楚	28	æ	£	金色品	£	(F)	ŝ	32	9	多春日	ê	3	£	£	3	3	33	£	Ð	32	金塔豆	多茶品	記事会
ן פ	持行40方柱	中	4	4	36年3	英	14	¥	#	汉.	当公司	Ä	ij	177.	Ä	Ħ	14	歩	ij	Ä	ŢŢ.	33公丘	400%	345年
_	響	〇(友好的)? 〇(友好的)	100	〇(友好的)	〇(友好的) [一〇(友好的) [第3卷]]	〇(太好的)	〇(友好的)?	〇(友好的)	Œ.	(中立的)	△(中立的) [→〇(友好的)][第3老]]	×(対立的)	×(对立的)	×(対北的)	×(対立的)	×(対立的)	〇(友好的)	Ť	△(中立的)	×(对立的)	×(対立的)	×(対立的)? [→O(友好的)[第3者]]	×(対立的)? [→O(友好的)[第3者]]	×(対立的)? [一〇(友好的)][第3老]]
E	\dashv	<u>[名]をちょうだい ○(友好的)</u> [動]ていただきた <mark>○(友好的)</mark> い	[動]ていてくださ 〇(友好的) い	9	047	0	2	0	[勤]させてくださ O(友好的) い		71/	×	×	×		×	2	\cup	왹	×	×			×
	報	名]をちょうだい 動]ていただきた	120			5	5		₹2 10		[勤]てあげてくだ さい	ಭ			[動]てってくださ い	5	Q			0		[動]てあげなさい	[動]させてあげな さいよ	a
区	器	込だ	×	5	چ	10	10		Y	4	٢	×.	5		~	10	N			_	_	<i>‡</i>	÷8	42
	述都末尾形式	5 2	15	[動]ください	[動]くだみい	[動]てください	[動]てください	g	#	製]てほしい	10	[動]ないでくれ	動]ください		5	動]てください	[動]ないことね	[動]ように	0	動] て来い	[動]なさい	201	1	دُ
=	2 3	ぎて	K	×	\simeq	۲	۲	[動]てね	10	۲	h.]%	\simeq	F	۲	۲	4	4	包	2	4	P.	10 46	2
*	אי	四回こ	画に	靈		8	圓	(<u>a</u>)	置い	靈	圖和	<u>6</u>	個	[勋]て	<u> </u>	侧]	(<u>@</u>)	(g)	[勤(命令)]		6	(編)	画元	[動]んじゃない
																П			T	7				
`	報報		NEK NEK	NETA.	KEK .	15K	NEX.	KEK	NEX.	ख्य	NEX.	KK.	100	KTK .	NEW .	92X	10	de	da.	امد	Ata	Ata.	de.	AG.
\ 7 /	対人的民民権医	氮氮	依	霞	変	寂	依果	依	依	族	校	依	依豫	依	菱	依桑	品	4	命	命	4	令.	命	作
	375	行動依賴行動依賴	行動依頼	行動依頼	行動依頼	行動依頼	行動依頼	影	心	行動依頼	行動依頼	行動依頼	行動依頼	副	行動依頼	行動依頼	行動命令	行動命令	行動命令	行動命令	行動命令	行動命令	行動命令	行動命令
-	\dashv		1	1	74-	-	-	たくさん大阪介をしゃべる 行動依頼	早く二世をつくって両親を 行動依頼 安心させる	~	·	**	ñ	重いもの(荷物)を出さない 行動依頼 ように言う	·-	~	***			٣		×-		-
			5					Ÿ	£					14					ほかの所に(ごみを)拾てる			つり革をこちらの方(投稿 者)にかわってあげる	もっと詰めてこちらの方 (投稿者)を掛けさせてあげ る	
1		1	おつりをあげるのを待つ		'			٦	同同	ľ		٦		北			それ(謝耶)を言わない		判			55	のさ	1
	独	16	ė					181	3		10	指差して往文しない		150			2		썴	-		517	40 10	S
	述部内容	米	1. 10				73	反升	č	n	5.1	אָר		(桑)		3	17-1 1511		ارز	į		75	선釜	つな
	景	切符を護す 金曜日までに来る	48		10		これで我慢する	式	₩ W	保証人になる	道をあけてあげる	进		偏う		もう一度調べる	1) 2	10	12		10	3 (1	ある。	しつこう言わない
Į		製造	ر چ		£6		で鉄	37	担せ	岁	96	7		0 10	÷	臣	143	*	OPF		₩.	込む	44年	3
	-	切符を減す金曜日まで	5	む	帮を詰める	辞っ	4	~	Υğ	胃	45	松	帰る	重いもの(A ように言う	片づける	ż	12	学校へ来	かん	頑張る	静かにする	25	経験	7
	-	20/68	144	\$2	践	恕	13	K	早安	맻	滑	##	쨏	重よ	±	æ	w	孙	226	臣	#2	い物	もほる	2
		-																						
	帥				žģ.						ķ												žį.	
l	主部内容	43	<u>بر</u>	ž	なれ	5	÷.	ر م	ا _ة :	5	#U	ا خ	ايز	ا ڄ	5	ري:	16	اي	اع	اج	15	35	ξ) †ζ,	5
	#	あなたがあなたが	あなたが	샕	겊	£	43	#	&	뵚	长	셙	Ų,	₩.	₽	3		읩	곕		£	£	*	8
- 1	- 1	あなたがあなたが	37	あなたが	あなたたちが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたたちが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	37	20	5	あな	あなたが	あなたたちが	あなたが
ı		- c3	62	4	20	9	2		6	등 'ন			23											
					-	_	• •			=			ii.	-	==	ĭ	13	≃	==	ಷ	2	22	23	24

〈2〉 新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

- 13	=	- 1		\vee	- 1					1	\cup		\cup			1	- [\circ	
1	福島 野祭 新野 計	T					0	ō		O	0					0	0		0	0	0		0	0	0			0
1	1	П																								П		
Ī	2	1				_	Ō	o		0		0		0	\overline{C}				O	0	0		0	0	0			
1	16 28	7			_	\overline{a}	o	ā	0	Ō	0			00	Ō	0	0	\overline{a}	C	0	0		Õ	Ō		O		
1	15	ol	$\overline{\Omega}$			_	Ť	Ť	_	_	_			Ť	<u> </u>	-		Ť	Ť	-	ō	Ō		Ť		ŏ		
1	1- 14 EF	7	_	-	o			-		Н			-			0		O	Н			<u> </u>		0	0	\leq		
F	7	+		-	ᅴ	-	-			-			0	-		0		\sim		\vdash				<u> </u>	0	Н		\vdash
- 1	7	+	_	-		$\overline{}$	\dashv	-		Н			<u></u>	_			_	_	Н	H						Н		-
1	10.2 MH	-	0_		00	\subseteq		_		Н								_	Н							Щ		-
1	20	4			\circ					L				_	ļ			Ц	Ц									
		1	O 6							_				L													٥٠.	Ш
	É		0			0	0	0	0_	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	\circ	0		0	0		
1	亲言語彙 美質白質湯果 内醛 白鹭	-								١.																		
	둂	- 1					\circ	0	0	0		0			0	0	0		\circ	0	\cap		0	0				
ľ		+		-			\succeq	$\stackrel{\smile}{}$		\vdash	ļi	<u> </u>	-	Н	<u> </u>		_	-	\sim	\vdash		_	_	-		-		-
	蹈	-			1																							
Ľ	44:									L				0		0		0						0				
ľ	() 鑑	-																						,				
- li	S.		1			ı	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	,	◁	+ ⊖ ⊕	+			+
ŀ	MS-C	+		-	-	-	-			1				F	Τ			Ŧ	7	Ŧ				00	T_	_	1	-
1	-		心の治たさを感じる						40		うれしさ/感激/温まり/懐かしさ	うれしさ/忙しさの 軽減/とうっとうし さの軽減/思いやり を感じる	塔			感動(人格的)/好感/ 温まり	感動(他人に対する 思いやりに)			5	ありがたさ(かけた 負担を補ってくれた ことをり/恐縮	不愉快/傷つき/プレ ッシャー	気づき(優先的にな すべきことの)		#			
A COUNTY OF THE PERSON OF THE	(S)	- 1	額						14.		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	かかみ	ž			47	43			776 200	₹~	Atr.	茶~	a	J.			
- [- 1	机				31,	י זיג	37.		颤机	壮っ思	5			<u> </u>	ឆ្ន		м.	1/2	がて競	ñ	強の	(S)	ŭ	1		
i	均米(相談)	-	ž.				77	17	77	10	30 -	おいべる	175			突	것보		1	44	た箱か	毎1	學分		10	2		10
1	8	_	処	٠,	块	~	Ų.	ž	泛节	1	二巻	ルが難じ	1.6	6	_	Šē	불위	_	ýÇ	Ŕ	が変を	快卡	彻彻	6	ب		製	ا بـا
١	ı	数 2	9	不粋	不愉快	新位	ありがたさ	ありがたさ	ありがたさ/気持ち が弾む	うれしさ	うれしさ/感 り/懐かしさ	うれしさ/忙しさの 軽減/とうっとうし さの軽減/思いやり を感じる	なごみ/なつかしみ	116	概则	変き	感動(他人に) 思いやりに)	交通	ありがたさ	ありがたさ/温まり	ありがたさ(かけた 負担を補ってくれた ことを?)/恐縮	不愉快/信	気心や(極先的 すくぎいとの)	①感動、②感動	うれしさ(この上な い)	プレッシャ	屈辱感	うれしき
ŀ		-	<u> </u>	1	-	201	70	70	70 72	7,	., .	2 - 10t 20 26	χ.	70	NE4	雄 深	Mi mi	124	70	70	20 00 17	16. 3.				1	122	-
ŀ	四米元	-	柳	椒	₩	1#													47	掵	⊷ .			①相手、 ②第三者			抽	
ľ		推	海川場	第三者	第三指	話し手	相手	#	帮	相手	車	相手	相手	相手	相手	相	相手	相手	111	第三者	m i	華	華	垂經	相手	相手	第三者	垂
1	7	#	1657	527	鉄	12	*	#	#	**	#	#	#	#	#	₩	#	#	£3;	827	鰥	뫢	哭	Θ	架			異
I.			_		_	_			(_			_	L			_	_								〇(友好的)?		
1	対荷竹森の万年四	8	£ .	铝	ζŒ	697	FBS	£83	FØÐ	FB	岳	瓷	毫	歪	歪	£	Feff	色	冠	歪	£	£#)	瓷	£	器	9	G	图
ŀ	2	T.	17	17	S V	芸	交数	友妇	友約	反	友妇	克	歪	匮	歪	挺	気	互卸	臣	五	反的	艾姆	资	五	盘	五好	忠	보 보
ľ	×	(密以权)×	(対対な)×	×(対立的)	×(対立的)	×(対立的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	2	l C	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(太好的)	〇(友好的)	Ξ	\mathbb{Z}	1
ŀ	-	4	_	Ĥ		0	\leq	$\frac{\vee}{}$	9	۲	<u> </u>	<u> </u>		[動]てくださいね O(友好的)	[勤]て行ってくれ O(友好的) んか	9_	0_	Н	۲	K	<u> </u>	9_	\sim	٧	\vee	V	0	[名]でございます △(中立的) か?
ŀ	띪		î)			動]たらどうなの		[動]ていいですよ	ŝ	3			[動]たもんせ<方 言>	1	*				5	[動]て行きなさい								150 H
l	亞郡木屬杉式		3			3	_	3	Ŕ	10		_	TV.	10	٧	钋	*		10	45	S		2					5
1	¥		¥	20	3	5	ريد	2	حد	15	يد ا	حد عاد	3	1	5	31	3	٠,4	*	110	7U	5 5	40 50	14	ç.	١,		7U
	論	-	4	1]	命	4	15	ř	ŭ	ř	\$	44.	2	ř	ũ	2	をと	2,7	ř	ž	÷	12	<i>*</i> >	20	17	+6	٠	12
1	텕	4	[勳]なよく禁止>	[形動]だ	[勤(命令)	(F)	動]なさい	高	[動]にくいから	動]てください	[形]わよ	[動]なさい	富立	[10]	題がなが	[名]にどうぞ	[名]をどうぞ	名]もな	[動]てください	1	[動]ください	[動]たら?	[動]ください	名]とうぞ	[形動]か?	名]は?	[鑑]	G ~
1	-	4		1		_]	Ξ			9	ij		Ξ	27	ت	-	ij				=	=	<u> </u>		ű	1	17.5
		-1									_																	
	3人的失法整整	섺	₫¤	₫₽	42	€-	£	£	£	£	ξÇR	ಕ	£	æ	æ	æ	ક	3	æ	æ	ಕ	£	ક્ર	ક્ર	长	*	*	*
		鱼	行動命令	師	包	包	鄉	櫛	施	棚	龜	變	18 P	梅	2	擾		180	物	福	變	160	100	- F	膨	湖	歐	國
ľ	"	行動命令		行動命令	行動命令	行動命令?	行動勧め	行動勧め	行動勧め	行動勧め	断上	行動勧め	行動制め	行動勧め	11	行動勧め	行動勧め	行動翻制?	行動勧め	行動勧め	行動勧め	行動勧め	画	行動勧め	情報要求	情報要求	情報要求	探
ŀ	+	7			~	-			**	1	大根の葉を揚げと一緒に調 行動勧め? 理する		V-	1	私の手作りのうどんを食べ 行動勧める	***	-	5	-	4		~	私のビニール袋と布切れを 行動勧め使う	*-	=			百万遍念仏の法然様のお寺 情報要求
1	-						1	私のテレホンカードを使う		~	12				£			風邪を引かないようにする					r r				だれ(→自分の娘だとわか る)	10 AC
١	1			¥		p		ķ	5	擅	240 2400				450			12				rQ.	\$				45	8
Į,	nn	5		Y		出土		1	∯-4	日を	LL.				χ.		100	3		X		£.3	存			10	£	養
ľ	É	V.		Ċ,		#	£.	4	奪	12		5			3	H	食	3		ѷ		級	43X	10		2	礟	菜
1	点部内部	Щ	_	20		ż	ارفرا	7	14	船	搬	BIX		10	ė	3	tý.	7.4	3	3	10	Ϋ	=	顶		ň	ĕ	õ
ľ	키	糽	24	30		'n	1	*	3	닍	松	香香	3	盟	E D	医	1.1	ŝ	司	华	倒	ſο	3	£		#2	EE 2	12
-	-	2	*	1	學	•	狂	小	Bilo	05	8 3	3	12	子月		20	120	5	会	母	şe ĕe	7	21	사건	4K	11	<u>,</u> †_	(A)
-	1	あなたの入店を断	もう来ない	(演奏するのは) ダメだ	早く帰る	ポケットから手を出す	私の駐車場を使う	e	私の別のいい傘を使う	私の席の一部に鞄を置	張す	欲しい物を買う	遊びに来る	入試を頑張る	ė.	私たちの席へ座る	私のお菓子を食べる	民	私の傘を使う	私の傘を持って行	私の席へ座る	病院へ行って検査する	8 V	花束を受け取る	大丈夫	いる(=持っている)	્રફ	R
1	4	10	لوو	Ű	1137	六	#	Ħ	换	章	大理	29	灣	M	強る	型	有	围	華	Z,	型	袋	招使	#2	<u> </u>	2	次 (る	HI
1	-																										4	
ŀ	如															5											18	
ŀ	田部四草					,,	.									40			l			.					Ţ.	
- 13	盟	-1	8	27	3	8	2	2	8	R	8	R	12	1	ŝ	*	R	Ŕ	Ŕ	Ŕ	Ŕ	Ŕ	Ŕ	Ŕ	Ŕ	ا برا	Ž,	12
ď		á	あなたが	あなたが	あなたが	157	あなたが	あなたが	121	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたたちが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	子供が	この人が(→あな たが)	この寺が
L	_	和が	48	₽	÷Q	ŧΘ	18	48	4€	18	4€	48	48	÷	46	÷6	48	֏	B	+6	Đ.	Ð.	÷8	₩	100	Ŧŧ	ガ袋	Ĭĭ l
-		25	 	-			30			33	Y	32	98	37	00	33		_	-7	43	4	55	46	47	85			
		co.	C-1	2	2	2	က	3	cc	60	3	က	3	8	က	63	4	4	4	-	₹.	4	₹	-47		49	ŭ	22

(3) 新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

25			O																
福岡 超体 保険			Ť																
瓣			0	0	***************************************		0				0	0			0			0	0
地址			0			0									0		ō		
111- 1662		0			0		0			0				0				0	
益	0						-							_		_	Ĭ		
占	<u> </u>																		-
禁		0				0	0	0			0			0		0	-		0
試	0			-		<u> </u>	<u> </u>	0		-	Ĕ			\sim		\vdash	H		<u> </u>
種	-			0 ~.		0~	٥.	<u> </u>	0~	-	0 ~	$\overline{}$			0 ~		⊢		0~
角桁	0	0	0	000	0	0 6	0 ~		0	0	0 ~	ا 0 0	0	0	0	0	F	0	0
ec.		<u> </u>	<u> </u>	 	<u> </u>		0%		0	<u></u>	\vdash	0	0_	9	0	Ψ_	μ	\vee	\sim
实置行動想果																			
溪			0												0		L		
號																	Г		
非容器结果						0										0			
						$\overline{}$				-	-				.91	<u> </u>	┝	-	
(-+)蓄														∇-	⊕-, @∆, @+&	l			
齽	4	◁	+	1	I	ı	1	1	+	1	+	1	1		Ø+% Ø+% -	+	1	1	1
	_	, ,					₁₂₃		≥		经	48			獣も				l
2	蘇き(態度変化に)	繋き(質問されたこ とに)					理不尽な思い/心配	ಬ	矢い(冗談による)/ なごみ		笑い/ストレスの減 少	情けなさ(カタワラ)/あ きれ			団瓶かしき、②失笑 、③満足&恥かしさ			17:00	
松田	图	***		13			3	變	133		7	661		ಭ	<u></u>			7	-
効果(抽象	麗	Ē		騒き(あきれ)	1 0		は思	殺伐とした感じ	撇		-4	-: +tu		やりこめられ	し足るる	au.		くやしさ/不信	
校	2	5,	_	48	恥かしさ		1	A)	5%	不愉快	K	Ţ.		ñ	か満	うれしさ	Ĺ.,	ڏ	
	松松	多と	學	ALU Mare	ሴታ	恐れ	屋子	發後	2 N	經	2	青げきれ	徴り	વ લ	E ⊗	なっ	立腹	4	立腹
Н	ZZZ	##. ~U	144	144	- pag	He	HK.	***		<u> </u>	60.50	2_ 110	4			-	1-	<u> </u>	144
効果先	相手07第		l.,	l			1/4	1 23	相手、 出手、発 に手、発		按				の相手、 ②第三者 (の話し 手	ቀ	١.		
数	出語	##	中中	井	相手	井	粉川銀	第三者	計手 海	相手	銀川路	相手	相手	相手	開 の 選 の 温	第三番	盐	曲	排
	- 1		-	140		***	441	657	# * ~ (1)	***	447	+4-	**	+	00 .		-14-	-	**
提	e	×(対立的)?	Ð	€	(g)	æ	Ð	Ð	Đ	S.	Ð	Ð.	Ð	Ð.	ą	〇(友好的)?	9	æ	ક
404	日日	坟	型	123	软	计	# F	Ţ.	班	Y. E	拉	炡	坎	坑	坎	野	好	13	塔
对者行為0万分的	△(中立的)	亥	〇(友好的)	△(中並的)	核	×(対立的)	翘	×(対立的)	ば	世	×(対立的)	×(対立的)	×(対立的)	图	× (対立的)	Œ	〇(友好的)	×(対立的)	×(対立的)
	◁	×	0	◁	×	×	×	×	0	4	×	×	×	×	×	0_	0	×	×
	.				[疑問]~[動]の5 ×(対立的)?		[疑副]~[動]んだ ×(対立的)	,,,	[動]せるつもりか 〇(友好的) ?	[動]てくれるんで △(中立的) しょうね				[疑]だったのです × (対立的) か?		_			
述部末尾形式	[名]いるかね?	٥.	٥.	[疑闘]ですか?	9] 0	<u>20</u>	12	[疑][動]てんだ	20	24			[動]たのでは?	DJ		[形動]でしょう			
害	Ŕ	Ŕ	6	10	ARK	~	- N	7	Č	# _	ç.		5	7		بـ	4	~	46
光景	2	414 Ja	7	12	<u> </u>	癫	<u> </u>		The state of the s	くだ	22	5	500	ر ارو	۵.	2	15	125	12
项	2	[勤]ますか?	[疑動]たの?	西	超	[疑][動]んだ	題	<u></u>	(E)	割んなったなかな	[動]のか?	[動]か?	(F)	₩.	? [MM] ?	22	形でしょ	[形動]な	[形]でしょ
Ц	~	E.J	<u> </u>	2	<u> </u>	2	<u> </u>		<u></u> ~ <u></u>	<u>こっ</u>	200	2		ů				£)	5
****								<u>_</u> .					~.	_					
料人的果然	兴	长	送	送	送	*	送	説明要求?	长	长	长	送	確認要求?	*	长	兴	送	爸	*
1	情報要求	情報要求	說明要求	説明要求	說明要求	通過	説明要求	強	80 EX	殿	殿	8%	86	級	確認要決	可意要决	影響	歐	際
	垫	₩ <u></u>	25	器	350	55	200	靐	確認要求	響	選	掘	響			100	Ē	米越海回	回察療法
П					VA.V.	何をした(=何もしてない) 説明要求			÷5	女性ではなく男性をよこし 確認要求 てくれるはずだ	若い女性に寄りかかられて 格そんなに押し返す	自分のものを自分で聴くの 確認要求 に文句がある		6			Г	#	ł
			どうした(=何を困っている)			3		何をしている(=それをしてはいけない)	私を95歳まで働かせるつも りだ	H)	12	#50 ~	(何か悪い事をして大学を) やめざるを得なかったのだ	どうだった(=飲んで帰り が遅いことはなかった)			1	いいお母さんをもって幸せだ	小さいからしょうがない
		ю	2	1		7	1	1	4	450	かす	P	7 to	3 5				5	24
蝕		日本語がしゃべれる	₩. E3			چ ا		11	32	型	若い女性に寄りかか もそんなに押し返す	### P	3 6	数分	25		13	-S	3
述部内容		4	È			Ē		35	で蔵	アだれ	かり	4일 4년 제	を記	II #	40 40		12	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	14
題		ا نے						5 4	116	26 16	55	6 48	事を	など	تد		欧	10	0
П		42	12	12		*		17.3	5数	25.25	性な	76 175	影響	37.7	20	97	뙲	母の	Ŕ
	113	₩ #	ار ر	どうして	なぜ	₩.	なぜ	を現	をだ	哲な	35	かが	के मुंदे	が悪	私にもっとさわる	#	解約の必要がない	3	170
Ш	<u>ئ</u>	⊞	どる			Ē	44	何て	私り	女て	茶や	自に	50	どが	秀	おじいちゃん」と 失礼だ 呼ぶことが	数	2 X	
				# @	日本でポルノ漫画雑誌がどこでも売られ男性が平気ででいる。 られ男性が平気で 電車の中で読む理		知らない人に声を かける理由が									식			(子供たちが歓声 をあげて走り回る
麵				に報	ノで字録しますが		12 %	ž								₹	L		が回り
K	ي ^خ	,		を重	リアダビ		_\\	40	1 -	.,	\		.,	3.0		\$ 20	0		記走
主部内容	マ れ	8	3	W 70	でが現りまと牡牛		な盟	27	3	3	3	8	63	3	5	34	18	3	され
'''	鈴木さんが	あなたが	あなたが	(ごみを捨ててはいけない理由が)	本品 本語な は が は が が が	私が	知らない人に かける理由が	ξ <u>.</u>	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	あなたが	「おじいちゃ」呼ぶことが	3	あなたが	(子供たちが歓声をあげて走り回る
	器	+6	46)	<u> </u>	日雑ら電由	쎀	角か	+6	46)	48	48	+6	+6	₩	48	三原	+8	48	T 40
Ш																			

> 新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

ŀ	群類他			0	0				0	0						0		O		0		۲	
Ī	益	_					0			ĭ		-				_		Ĭ		_			
	舒子 鼠祭 増置				0		0	0	0		0	0		0			0	0		0			
-	- P	0_		0				0_	0	0		0			0	0_	0	0			<u> </u>	\vdash	
	4 銀		_			_						_				0						Н	
1	計算		-					_				-	-		-	<u> </u>				_	0		
ł	7	0	Н		-					-		-						-			0	\dashv	
	63	<u>0</u>	Г			0																П	
	[]	0				<u>٥</u> ~																П	
	串		0	0 %	0 ~		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0
	通常																						
ļ	繁野		L		0			0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	ન્		Ц	
	弃言語効果 突異行動効果 内容 行動 形式 調子																						
<i>y</i>			L	0				0												હ			0
	数字(+-)																						
\vdash	数	1_	1	4	+	+	1_	+	+	+	+	+	1	ı	1	+	+	+	+	+	+	+	+
新国技書欄による完語の対入効率のナータ		یے	עוו	質賛(投稿者の過ち に対する毅然とした 態度に)		2		ありがたさ(忘れが たい)	5,2%		ħδ						_						
胀	(A)	恐れ/不愉快、悲し さ	聚	@ ¥3	ļ	變		強	うれしさ/気持ちが 明るくなる	ΉU	親切(いつまでも忘 れられない)	にな					うれしさ/温まり					4	
≅	効果(抽象)	委	田	福祉2級2	10	<u>ت</u>		10	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	選/	45	松		4.5			9					数の	
<	郊	<u>/</u>	6	対域(法)が対して、対域を対して、対域を対して、対域を対して、対域を対して、対域を対して、対域を対して、対域を対して、対域を対し、対域を対し、対域を対し、対域を対し、対域を対し、対域を対し、対域を対し	ありがたさ	N.18	\$	200	うれしさ/ <u>ý</u> 明るくなる	うれしさ/驚き	親切(いつまれられない)	優しさを慰	40	自黄の念		うれしさ	۲	6	_	楽やかさ	_	嵌	
2		恐れ/不愉快、悲 さ	心能	賞に関	48	優しく楽しい感じ/ なごみ	あきれ	ありかたい)	うな問	うわ	殺りれる	縁し	悪しな	自漢	松	かわ	うれ	粉頭	經過	张	感動	慰動(畏敬の念)	経過
3	拓																				1 1		
12	効果先	第三条	第三者	相手	相手	第三者	第三者	相手	相手	相手	相手	相手	第三者	話し手	相手	相手	相手	相手	相手	相手	第三者	相手	華
K	-	無	無	異	平	無	無	異	4	押	異	-		盟	架	架	型	相	異	異	無	ᆓ	異
6	装	(g)	3	€ E	£	Ð	Ð	Ð.	G)	3	GG	Ð	×(対立的)?	(Q)	®	②	£	ē	e e	Ð	क	3	£
6	指行為0方向担	177	Ē	177	惠	夢	377.5	惠	班	班	班.	班	Į.	łχę	77	1	图	HE	墨		馬	17	ij.
ᆂᅵ	器	×(対立的)	(知内权)×	×(対立的)	〇(太好的)	〇(太好的)	△(中立的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	2)(3	〇(友好的)	8	×(対立的)	(海坛段)×	〇(太好的)	O(友好的)	〇(友好的)	<u>(</u> 2)C	〇(友好的)	△(中立的)	△(中立的)
E	٦	<u>~</u>	Ê		-	-	7			7	[動]かもしれませ 〇(友好的 んから	$\overline{}$		^	Î-	_		$\overline{}$	[動]ということで O(友好的) す	[勤]ていたんです O(友好的) が	\sim		
	述部末尾形式	4		4	~			'C	5	[動]てあげますよ	#6	5		٠,			-		الد	<u>ن</u> ا د		П	4
윤	瓦图	[動]たでしょ	4	[形動]でしょ	[動]ましょう		4	[動]ましょう	[動]ましょう	5473	7	4	₩.	ıφı		4	[動]ています	46	33	ķ	.,	,	#6
三	(部)	12	[形]でしょ	-[40g	116		[動]ようよ	116	***	7	15	[動]ましょ	٧.	#6		名]ですよ	ř	名]ですよ	يد	Ď	[動]たよ	5	ř
₩	'n		绝	图	[B]	100	(S)	6	[編]	(B)	[動]か んかち	[動]	行動要求受入 [動]んです れ拒否	行動要求受入 [動]ますから れ拒否	行動要求受入 [形] れ拒否	<u>%</u>		[名]	圆寸	適が	[iii]	[8]	[動]ていました
													Υ.	ĸ	3							П	
<u> </u>	HA的完整框框	₩	兴	长	185	% S	183	岀	#	#	哉	#	张	水斑	水通					和	위a	和	#
\ 4 \	机烯	同意要求	回意要求	製		行動勧誘	動物	行動提供	行動提供	行動提供	行動提供	行動提供	動類陌否	數 栖 石	動張	教示	115	115	115	支報	事実報告	專実報告	事実報告*
	_	<u>10</u>	匝	%しなったの器るのが当然 に	(動かなくなった草を)そこ 行動勧誘に入れる	作	じゅうじゅう館で焼肉を食 行動勧誘 べる	作	台	行		行		行れ	行れ	榖	教示	教	手をこういう風に当てるこ 教示 と	局に届いた時から封があい。 事実報告 ていた		ト	#
				景	かり		を食				(年賀はがきが)必要な方が いるかもしれない(→年賀 よがきを受け取る)		(キパール人にアパートを貸す のを)いやがる						10 11	\$P	今日また新しい友達がたく さんできた		みんなに(夕刊が入ってい たか)聞いていた
				ንነስ	145		数				は、		4						2号	4700	きから		2
	验	١,,		120	た	32	100			10	(を) (で) (あ)		1	ю́					22	5	友;		اريک
	试部内容	3,		で 選	2	15	や			20	ドが れな け順		5.6	がき			10		ら国	時力	ڎ		量3
	汥	00		った	50	E	ะ ร	10	元	せて	あるでを発	10	충	お店	3	草だ	3		3	4	たき	ريز	22
		(すでに)言った	-	άC	(動かなく)に入れる	17	から	車で送る	一緒に行	単に乗せてあげる	(年賀はがきが)必要な方だ いるかもしれない(→年賀 はがきを受け取る)	先導する	(ネパール人にアノ のを)いやがる	近くにお店がある	時間がない		5	32	χj	局に届い ていた	今日また新 さんできた	私の畑だ	みんなに(夕刊か たか)聞いていた
		<u>f</u>	形	海梨	國门	1	نَ زُ	掛	1	車	明い知	先	(#) 0	近く	韓	\$	和	Z	手と	部で	今を	100	かなな
						私とあなたたちが 一緒に(行動する)										相模原へ行く電車 次の電車だが	あなたのコートの さがっている 裾が						
	晚		95)		Ŕ	1	ĮQ.				_		,			× -	Ī			300			
	主部内容		6.		127	tet.	12 7				7,77		44			\(\frac{\pi}{2}\)	92	6	8	便物			
ĺ	##	ž	一ついこっかり	(L) \$	私とあなたが	と花	私とあなたが	34	χ.	ş	¢ (→和が	ž	大家さんが		30	模原	445	ここかり	(手当てが)	この郵便物が	¥6	たこが	和が(?)
Į		私が	_						私が	私が		私が	Ϋ́	હ			る徳	N	(†	ñ	私が		
		71	72	73	74	75	92	77	78	79	80	81	82	83	84	82	98	81	88	83	90	91	35

〈5〉 新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

型																			0		E	
幅 聯 機 他										0		0	0	0	0			0		0		0
100				-	-				_	0	-		Н	0	0		0	0		0	0	-
靈				<u> </u>	<u> </u>					00		0	O	ŏ	Ť			Ö			ř	_
排酵縣					0			0			0											
一十二				-		0		0			0		0		0				0	_	_	0
17 7				-	_			 	 	-		0		o	-	0	-	 	٧_	0 ~	\vdash	-
12								-				<u> </u>		Ĭ		٥.					-	-
																					0	
	0	0	0	0	0	0	0	0_	0	0	0		_				0_				_	_
実費行動効果 内容 行動 形式 調子							0			0												
										_									_		Г	
類果(+-) -賽雲島地果									-	_		0_	0	Н							L	0
- 神(十)	+	+	ı	1	-3	⊲	1	1	∇-	+	1	+	+	+-	+	+	+	+	+	ı	+	+
効果(抽象)	うれしさ	驚き(日本の方針に 対する)/賞賛(日本 の方針に対する)	驚き(発話から知られるれる図書館の方針に)	不愉快	打ちのめされ	繋き(変化に)	競歩(老之方の古さ に対する)/怒り	容器道断という思い	愕然/自責の念	ありがたさ	衝撃	うれしさ/すがすが しさ/気持ち良さ	感激	勇気づけ(後の)	なごみ/疲労回復	影勢(a株の氷しかくの)	不安解消/リラック ス	好気分	うれしさ	不愉快	2000	感動/かむこのしく
効果先	手	相手	華	相手	相手	相手	相手	粉川粉	相手		粉川裕	相手				相手	相手	相手	問記し手	発口帯		相手
対者行為の方向性	〇(友好的)	△(中立的)	△(中立的)?	△(中立的)	△(中北的)	△(中迩的)	×(対立的)?	×(対立的)	×(対立的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(太好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	× (対立的)-	〇(友好的)	〇(友好的)
述部末尾形式	[動]ているかもし れない(から)	[動]られているか △(中立的) らだ	[名]なので	[動]から	[勤]ませんもの	[形]から	[名]とかねえ(あ るから)	[動]われたのだ	たのだ	[動]ます	[脚]よ	こんにちは	こんにちは		お帰りなさい	おいでやすく方言〉〇(友好的)	ようこそ〈英語で〉 〇(友好的)		おしまいなさいく 方言〉			
对人给完场搜查	說明提供	説明提供	説明提供	說明提供	說明提供	說明提供	說明提供	說明提供	說明提供	物品提供	物品提供	挨拶	挨拶	挨拶	挨拶	挨拶	挨拶	挨拶	挨拶	挨拶	超级	感謝
述部内容	倍おけに補際器を入れなかったから滅し中から『六文』と替われても聞こえずまだがら、 がうろうろしているからしれるからしれないれない	憲法で決められている	规则だ	年金がもらえる	毎日様とも含わず元気に登校したあの子の評価を1だ の2だのではあらわせない	治るのが遅い	女性一人客は自殺(しよう としている可能性がある)	お母さんが料理を手抜きした	お母さんが料理を手抜きし た	千円貸す	(交替に届けたボールペンを) おにやる	こんにちは	チワ!		4.3		そ(英語で)	すみません	オンマイナサイ		ありがとう	
主部内容	(無事三途の川を 渡れたかと聞いた 理由が)	(多国籍軍に参加 しない理由が)	(入館できない理 由が)	(60歳が「年寄り」 の理由が)	(通知表を燃やし た理由が)	(ばんそうこうを 扱らない理由が)	(旅館の予約を断った理由が)	私の健康が損なわれた理由が	私の健康が損なわれた理由が	私が	私が	Ą	ઇ	ઇ	e	ಕ	ಕ	ચ	4	¥	ŧ	ಕ
	88	94	92	96	97	88	66	100	101		103	104			107		103	110	Ξ	112		114

〈6〉 新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

上部内容	-	述部内容	前人的完整整整		おいまで	が緊急	作品が大幅形式 一番指的指 一効果先 一効果(抽象) 「鰈(1	* 紫蓝線	実質行動効果 内容 行動 形式 調子 コー 主体 超手	音所	大 到子 二	排料		報題 報報 経路	名
ありがとう	め	超级		. 1	〇(友好的)	相手	希望版(いの世への)		0			Ç.	0		0	L
4		超级		ありがとう	〇(友好的)	華	原れ/かわいらしく 感じる/数やかさ	1					0		0	
ありがとう 感謝		超级		ありがとう	〇(友好的)	相手	新鮮さ(地域社会で の存在意義が確認で きて?)	+			0		0			
ありがとうございました。極端		報報		ありがとうございました	〇(友好的)	相手	気持ち良さ	+			0			0		0_
器ってくれてありがとう 極盟		高铅		てありがとう	〇(友好的)	華	感動(大切な事を教 えられた)	+			0					0
話しかけてくれてありがと うね	話しかけてくれてありがと ^{総閣} うね	克爾		てありがとうね	〇(友好的)	相手	感動(年齢に似合わ ぬ素直さに)	+			0		0			0
いない	いない	松湖		ありがとうござい 〇(友好的) ました	〇(友好的)	相手	うれしさ/感動/明る さ/温まり	+	0		0	0	0	0_		
一ご愛願ありがとう 感謝		聚辦	1	ありがとう	〇(友好的)	相手	なごみ	+						0		
		松譜		サンキュウ〈英語〉	〇(太好的)	相手		+				0		0	0	
大変ありがとうございまし 感謝 た		福福		ありがとうござい 〇(友好的) ました	〇(太好的)	相手?、第三者?	うれしさ	4	0		0		0			
		克里		サンキュウ(英語)	〇(太好的)	部川帯	なごみ/明るくする	+						Ö	0	
まし 感謝	を登り			ありがとうござい ました	〇(友好的)	第三者	感動	+			0			0		
ありがとうございます。「感謝」	松間		74 100	ありがとうござい 〇(友好的)・ ます	〇(太好的)	料川場	感動(美的)	+			0					
教えてくれてありがとう「感謝」て	電器		2		〇(太好的)	相手	恥かしい(自分で自 分が)	∇-			0		00			
呼びかけ	呼びかけ		U 10	OOさん(名前+ さん>	〇(友好的)?	報三年	うれしさ? 【明示されず (プラス効果であることは確か)】	+			<u> </u>		0			
〇〇さん(名前+さん) 呼びかけ		呼びかけ		〇〇さん(名前+さん)	〇(友好的)?		好際	+			0					
Excuse me 手びかけ		呼びかけ		Excuse me ~	〇(太好的)	相手	ありがたさぬ寂しさ (発話主体=非日本 人)	+ **		0	0		0	0 0	0	
先生先生		呼びかけ		先生先生	〇(友好的)	第三番	気になる	∇-			0		0			
		呼びかけ?		伯爵婦人	〇(友好的)	相手	うれしさ	+			0		0			Ш
				七郎君たち	〇(友好的)	接	気掛かり(非人格的 呼称)	_			0					
		呼びかけ			△(中立的)?	相手	不愉快	-			0					
		呼びかけ	\neg	おばあちゃん	△(中立的)?	相手	気落ち/設入り	1			0		9		1	\Box
おばあちゃん 呼びかけ	:	早びかけ		おばあちゃん	△(中址的)?	世	不愉快	ı			<u></u>		0~	0		
φ φ	44	呼びかけ	П		△(中立的)?	相手	立腹/不愉快	1			0		0	Н	Н	Ц
		呼びかけ	7	そこの女	×(対立的)	相手	人格無視	1					1	1	╛	
どうもすみません 湖非		製業	7	٦	〇(友好的)	相手	気やから	+	1	1	1	1	1			

〈7〉 新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

47 報報 初級 繁雜				0	0	0	0 0	_	0		0	0 0	0	0				0	0	0	0	0	0	0 0	0 0
)			0	0	00	0	0		0		0		_	0		0.0	0.00	0.000	0.000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
ļ	4	+														_								0	
5 40 5B 24 WZ	720 120	‡		0	0				0	0~	0	0	0	0	-	Õ	00	00 0~	00 0~0	00 0.0 0	00 0.0 0				
日本語以数令 日本	AX XXIII	+		_		0_		0						ç.		_			0	0	0	0	0	0	0
100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円 100円						, t		+&- (実質 行態に)	∇%+	0	0		_									0			
	おく在来	ないなった。	ne co	整数(道徳的: 周囲 +	着々しさ	□うれしさ、@うれ □+、 しさを感激 ◎+	角気づけ	標勤(あたたかさ)& + みじめさ みじめさ (5 4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7)	&困惑		ナルしき +	うれしさ/救われる + 思い	十	なごみ/明るくする/ + 働く意欲	安堵		感動(自分の働きの + 確認に対する)	 	127.1	感動(自分の働きの 確認に対する) 教われる思い/明日 へのファイト 自信/やる気/成様優 特(?) 系(?) がかしき(自分で自	感動(自分の働きの	整動(自分の職をの 報記に対する) 数われる(力) 数われる(力) へのファイト のファイト (目) (別) (別) (別) (別) (別) (別) (別) (別	藤敬(自分の顔きの	藤勤(自分の職きの 教われる思い分支方) 教われる思い今方方 教のファイト 1目信/やる気(麻解版 第(2) が)(1) が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自省で自 が)(1自名で自 が)(1 が)(1 が)(1 が)(1 が)(1 が)(1 が)(1 が)(1	整動(自分の働きの 数われる思いがある) 数われる思いがある かのフォイト 自信/やる気/成績優 系(り) かか)(自分で自 かか)(音(自分で自 かか)(音(自分で自 かか)(音(音楽 神)のない個人主義に 神)のない。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)のな。 神)。 神)のな。 神)。 神)のな。 神)。 神)。 神)。 神)。 神)のな。 神)。 神)。 神)。 神)。 神)。 神)。 神)。 神)。 神)。 神)
李 田 本	X * X * X		第三台:、 相手?	第三者?、相手?	相手	〇相手, 〇第三者	相手	第三条	相手	相手	第三者	岩川岩	相手	士	相手		带	相手相手	相手相手	相手 相手 相手 話し手 [魯き手]	排 排 排 指 器	相等 相等 相等 相手 もんりょう おんりょう ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ	番	相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相 相	番
HARBOTCH (Sellandalit	O (Agres)	C(&\$783)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(太好的)	〇(友好的)	〇(太好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)		〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的) 〇(友好的) 〇(友好的)	O(友好的) O(友好的) O(友好的) O(友好的)	○(友好的) ○(友好的) ○(友好的) ○(友好的)	〇(太好的) 〇(太好的) 〇(太好的) △(中沈的) 太(中沈的)	○(太好的) ○(太好的) ○(太好的) ○(太好的) △(中立的) ○(本班的)	○(太好的) ○(太好的) ○(太好的) ○(太好的) △(中立的) △(中立的) ○(大好立的) ×(対立的) ×(対立的)	○(太好的) ○(太好的) ○(太好的) ○(太好的) ○(太好的) ○((中立的) ×((対立的) ×((対立的) ×((対立的) ×((対立的)
はいる。	に即る場形が	こうないはった	いだるりました	すみません	ごめんなさいごめ O(友好的) んなさい	ごめんよ	こ若労さまです		に出劣さまです	[名]だね	[動]てるじゃあな O(友好的) いか	[形]ね	[形動]	[形]たよ	[形]のよ	The state of the s	[形]む	[形]わ [形]なったね	[形]なったね [形]なったね [形]	[形]な (形]なったね (形] (助]ました	(形)か (所)なったね (形) (脚)ました	(別)なったね (形)なったね (形) (別) (名)	(形)なったね (形)なったね (脚)ました (形) (名)	(形)なったね (形)なったね (形) (所) (名) (名)	(形1なったね O(友好的) (形1なったね O(友好的) (形1 O(友好的) (形2 O(友好的) (形3 A(対立的) (形3) A(対立的) (形3) A(対立的) (出3) A(対立的) (出3)です A(対立的)
日本のは	AACHT	245.55	46.00	推翻	部軍	いる。	慰労装明	慰労表明	慰労表明	評価表明	評価表明	評価表明	評価表明	評価装明	評価表明	there from sales rate	评值放品	評価表明評価表明	評価表明 評価表明 評価表明	評価表明 評価表明 評価表明	評価表明 評価表明 評価表明 評価表明	評価表明 評価表明 評価表明 評価表明	評価效明 評価效明 評価效明 評価效明 評価效明	評価表明 評価表明 評価表明 評価表明 評価表明 評価表明	
58 th 1985	はいない。	お存んせしてりめませんセンタイク	45.5.4.7.4.0.k.	すみません	ごめんなさいごめんなさい 謝罪	急いでいるからごめんよ	こ苦労さまです	(古労さまです	とうもご苦労さまです	良い子だ	男前に(写真が)とれている 評価表明	いいない	大好き	おいしかった	だれよりもかわいい		こうか	すごいうまくなった	すごい うまくなった 字がきれい			すごい うまくなった 字がきれい (自由研究が)よくできた 最も楽しい そそばばあ	すごい うまくなった (自由研究が)よくできた 最も楽しい そそばばあ (そばばあ)	すごい うまくなった 字がきれい (自由研究が)よくできた 最も楽しい くそばばあ 何をやらせてもダメ 音類だ	よくできたもグメ
1	中に記され			હ	અ	ಕ	ધ	હ	ಕ್ಕ	あなたが		あなたが	あなたが(?)	あなたの作った弁 おいしかった 当が	あなたたちが	ľ		あなたが あなたが	あなたが あなたが あなたが	あなたが あなたが あなたが あなたが	あなたが あなたが あなたが あなたが かなたが を放くろってカウ キベラレビを見る 井部が	あなたが あなたが おなたが あなたが 変族そうってカウ 実施そうってカウ 生活が あなたが あなたが	あなたが あなたが あなたが あなたが かなたが チャマテレンでもフケ 生活が あなたが かなたが かなたが	あなたが あなたが あなたが あなたが あなたが 実版そうってカウ ナイマレビを見る あなたが あなたが あなたが	あなたが あなたが あなたが あなたが 実験そろってカウ チベテレビを見る かなたが あなたが あなたが あなたが あなたが あなたが あなたが
	:	141	71.7	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	ü	100	156	156	156 157 158	156 156 157 158 159	156 157 158 159 160	156 157 158 159 160 161	156 156 157 158 159 160 161 162	156 156 157 159 159 160 161 163

〈8〉 新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

1	1	Щ		<u> </u>					_		_	<u> </u>			ļ	Ļ				ļ	_	
-	群 類		0	0	_						0				L	0				ļļ	_	
ļ	麵	Ш		Ц					Щ												_	
- 1	を なる		0		_											0					4	
	靈	0		Ш												O					_	
	離						0		0	0			0 ~-		0~			0				
	精上			0	O	0	0	0						0			0~					0
	H			П										_							٦	
Ī	紫								0													
İ	就 群	O																				
ı	EB.	Ī	0 ~	П							_				-							
ı	暗	$\overline{}$	0 ~	Н	O	$\overline{\Omega}$	0	٥~	0	0		0	0	0	0	Ō		0	0	0	d	$\overline{}$
ļ	*	ř		Н	Ť		_	<u> </u>	ř	<u> </u>		_			 	=		<u> </u>		\vdash	\preceq	-
	实质析動類											1			1					[[1	- (
		Ц		Ш	_							ಕ್ಕ				0					_	
- 1	談														-							
N	쬁		0						0			0		0								
i	-)	П							l						 							
'	着果(+-) 非智語業	١. ا		١,	,		١.	١.	١.		١.	١.			١.	١.	_		١.		ارا	.
こ	₹	1	+	+	+	+	+	+	1	+	+	+	+	+	+	+	◁	1	+	◁	◁	
利国技術をある光語の対入巡米のオー				_			胸のつかえがとれた	. l			44				悲観的な気持ちの和 らげ/慰め		伊		2	火		الد
\mathbb{K}	3	10		安堵/気分の良さ	£		نڌا	感数(終のしかに)			シれしさ(極ばれた パとに対する)		_	心にしみる思い	140		うらやましさ(肯定 的考え方に)	後味の悪さ/後悔	気持ちの切り替え/ 頑張り	苦笑(現代的な考え 方に)	5)	残念(地元を誇りと しないことを)
5	効果(抽象)	ڎ		9	验		3	ڌ	龅		地で	271	5	100	整	竹	10 OF	×/4	60	937	九	話を
ント	眯	3		系分	ŧΰ		Ŕ	42% 470	雅	30	が女	≅	10	46	25	17	まげ	嗣	e e	£	がス	語が
	农	1/1	18	6/5	۲	£	5	\$ (S)	Š	7	77	#p	40	15	(B)	1/4	平太	6	おも	9	(3	₹ £
×	- 1	立腹/くやしさ	なごみ	农	うれしさ/感動	松野	000	能	絶句/斯絶感	5	うれしさ(専ば ことに対する)	妖	救われる思い	13	悲劇的なか らげ/慰め	感動/温かさ	うらやまし; 的格え方に)	級	気 (学)	哲グカに	納得(考え方に)	強力
3	-	H		H	Ť		-	192	-			-	-						N/1 185	110 1 (966	
딮	効果先					-31		相手?、第三者?	l.,						١	第三者		話し手	١.			
ü	敬	相手	井	相手	相手	#	幸	生活	相手	*	相手	相手	華	華	非		#	# 1	相手	華	相手	#
E I	-			**	+-	44-	440-	46 111	***	***	**	*	***	+4-	144	827	*	me	144		+4-	+4-
10	楚	9	〇(太好的)?	સ	3	£	a a	£	3	e e	33	G.	S	<u></u>	8	3	e	Gi.	6	1) (△(中立的)),
6]	60	北	是	ЯÐ	Ħβ	£θ.	H.	13	17.6	25	是	2	好的	E	Œ	H.	中	P.	133	119	1	19
2	并行A0万 时	×(対立的)	×	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	¥	△(中址的)	×(対抗的)	〇(太好的)	〇(友好的)	K	¥	英	赵	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	1	1	#	Ŧ l
X	**	×	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	ă	×	ŏ	ŏ	ŏ	ŏ	〇(友好的)	〇(友好的)	ŏ	ŏ	ŏ	ă	ă	ă	ăl
					-		[動]ていたと思う 〇(友好的)		Г			[勤]ことができま O(友好的) せん	[<u>動]できんだと思 〇(友好的)</u> う						[動]ているよりま △(中立的) しだよ	[動]ばいいじゃな △(中立的)? い		
	述部末尾形式		[動]てないんだ				⊞á		٦			批	2 7		[名]ですからね				5	4		_
Ϋ́	喀那		Š	4	щ		2		Ü	46	to	2	K.	5	6				10	2		7
画	3米		45	[動]ました	動]てるよ	[名]だぜ	2		名]だってね	[名]ですよ	[形動]です	ند	NU	[8]##N	ta.	46		16	ŝ	3	4	Ž.
5	福村	-	Ę	=	٦	4	5	(別)	1	5	a	2	2	2		形動]よ	· (編)	[動]れる	E3	25	H]6
me	^	8	₩	6	9	25	<u>S</u>	8	8	28	邕	時で	圏う	29	翌	읦	9	斖	過ご	過い	[名]です	逐
Ì		П							Г						T							
^			===			=		<u></u>	-	<u></u>		==	555	inte	me,					_	_	
0	対人的契益維定	刻	聚	图	粉	松	級	聚	数	聚	教	松	聚	崧	園	表明	数	松	影		松	聚
-	**	評価表明	羅	認識表明	認識表明	認識表明	經	認識表明	認識表明	臺	判断表明	臺	判断表明	判断表明	判断表明	判断表明	判 整数明	判断表明	臺	鱼	判断表明	重
-	-	fina	今日は朝からついていない 認識表明	िर्व	กหลั	the di	世の中に甘えてダメになっ 認識表明 ていただろう	trèd.	ಣನ	9t-	11/-	子育て真っ最中で買うこと 判断表明 ができない		 	#-		283-	計	病気で寝ているよりました 判断表明	(ユキノシタを使わないで) 判断表明 お医者さんに行けばいい	涆	田舎なので(名所は)何もな 判断表明 い
- 1		若づくりしたクソババアだ	4				446					71	自分が短い命と知っていてその間一番幸せに暮らせる所を選んでこの家に生まれてきた		170		物物	(日本への土産として)喜ば れる	3	P -		52
		3	ŝ		16		12					3	でら生		AU		16	Ö	116	(ユキノシタを使わないて お医者さんに行けばいい	1	Ē
- 1	Rh	17	Š		3		× ×		Ì			100 100 100	の様に	3	뱅		ta Ta	Ľ,	62	びば		₩
- 1	述部内智	1	$\vec{\gamma}$		ۮ		5			N.		1	とせる	4	を			<u>ک</u> ا	10	举定		图
	湖	7	å		12	X.	よう			架		凝	告報人	ž	漂		β	中國	5	\$ U		%
	72	7	2	2	野り	'nΉ	アジ	22	Ι,	(A)	20	100 20	題しい	2	鬥"	21	$\stackrel{?}{\sim}$	6	P .	2, 3	l	5
- 1		~	#	37	7	4	中方	\$	Z	6	±X	でき	が問選た	1	で説	大	で設	5	10	7 12	22	20
		3	Щ.	わかった	あなたに感謝している	こっちの方だ	8 5	寝んねだ	遺伝だ	(勤める)資格だ	大丈夫だ	子育て真っ」ができない	分のをき	ない(=したくない)	を習	大丈夫た	路と	B 40	区	7. 医	推	∜ □
- 1	4	114	A1.	*	10		# 7	PSO			_	4			あなたの歯が痛い。今まで一生懸命に生きてき ことが た証拠だ	*	ここ(教習所)でパ 道路で一人で運転する時き ッチリやることが っと役立つ	<u>- =</u>	***************************************	<u>₹</u>	採	버스
ı			:			お礼を言うべき人 が				何十年も家事をし て子供を大勢育て てきたことが			あなたの死んだあ かちゃんが	本んないと(扱い 国家のために一曲 緊急を置いてくれた のだから安心して ゆっくり機生する	鱼		53	スコッチウイスキーが	(子供が部屋中おもちゃを散らかすいとが)	そんな(中耳炎の) 時が		
	铷					۲		l. <u>.</u>		を割る	ŀ	ĺ	3	展立会が担	203		(F)	7	計で	茶		
	主部内容	اء:ا				\$17 C		K2	ءِ:ا	家大と			が で が	と めて 安養	图		部る	F.7	部被	1	ا ہِ.ا	ا ہـ
	圳	77			- 1	15J		采	老7	年供た			24	なの脚かく	なか	3	激パ	2	かながい だぎ	× 1	其	國公
		あなたが	私が	私が	私が	;	私が	タンポポが	分降岩が	十十七	私が	私が	あなたの死 かちゃんが	そ問題のゆがんなるなった。	100	あなたが	ンナ	スコーが、	(子供が部屋中おもちゃを散のかす いとが)	そん) 時が	世替主が	名古屋が
l	_	_							_					·				7				
		165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	80	8	182	183	184	82
									•						.—						_	

新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

		0	0				0	0	0	0	0	0	00	0	0	0		0
					0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0~
	٥		1	ı			- 【+ からの 訂正】	ı	+	+	+	+	0 +	4	+	+	_	1
	不納得(答えに)	ショック(くやしさ?)	驚き(あきれ)/幻波	身が縮む思い	不愉快	整個	心の痛み	恐れ	うれしさ(うれし泣き)	うれしさ(耐んでく れたことに対して)	うれしさ(貴重なこ とを教わった)/温ま り	灾å	温まり(共感される) /優しさ/尊敬の念	超慢	感動(対人的)	笑わせ(ユーモク)	つらさ	< ዯ፞፞፞፞፞
相手?	相手	排	粉川路	粉川田	総に出	相手	第三者?、心の痛み相手?	相手	粉川米	相手	相手	相手	相手	幸	計	華	相手	111-
	×(対立的)?	× (対立的)	× (対立的)	×(対立的)	×(対立的)	×(対立的)	×(対立的)	×(対立的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(太好的)	〇(太好的)	〇(友好的)	〇(友好的)
+6)	[動]ません	[整]だろうに	[名]じゃないんだ ×(対立的) よ	[形]だろう	[形動]なんだ	[動]ませんから	[名]みたい	[名]なんかない	[形]たねえ	[形]たねえ	[形]のだ	[形]たですよ	[形]くなるね	[名]でした	[動]ております	[名]ですね	[動]な〈感嘆〉	[形]んです
3	判断表明	判断装明	判断表明	判断表明	判断表明	判断表明	判断表明	判断装明?	感想表明	感想表明	感想表明	感想表明	感想表明	感想袭明	整想装明	懸想表明	感想表明	感想表明?
	本人証明に)ならない	子供がいる	あんた(弟)たちの来る所じ 判断表明 *ない	後に言っても仕方がない	トシだから生臭い物が好き 判断表明だ	ボランティアをやることも 判断表明ない	身体障害者みたいだ	ない	よかった	うに良かった			これから寂しくなる	感謝の気持ちでいっぱいだ 軽想装明	とても幸せだ	私たちにとって正にラッキ 感想装明 ー・デーだ	精海なのによく頑張る	2
	-	が	こ(花線の化粧が	極まじりのく くどとした訴え			不明)	作用のない薬が	あなたがけさうま く(便が)出たこと ゾ	(あなたの粉失物が見つかったことが)	あなたがいないこ とが	の部員の	孫が帰ったこと パ(?)	(道を開けさせて) ちらったことが)	() ナばら いが出来	マネージ [日する)	あなたが	(スケッチブック の上に土を飛び散
3		3.5.3元、 母業に専念 とが ドートが) (本人証明)	は	素や母素に事る。 ることが 5スポートが) (本人証明) なたが 子供がいる こ(花嫁の化粧 あんた(弟)	業や母素に等か ・	(30年 2012年) (本人証明 10年 2012年) (本人証明 10年 2012年) (本人証明 2012年) (本人証明 2012年) (本人証明 2012年) (本人証明 2012年) (本 2012年) (本立い 2012年) (大とした訴え 2012年) (2012年) (2012年) (2013年) (2013	2	20				を表でした。 することが、	を探や印象にある。 キることが、 (本人証明) (本人証明) (本人証明) (本人証明) (本人証明) (本人証明) (本人証明) (本人、(報) (本人、(報) (本人、(報) (本人、(報) (本人、(本人、(本人、(本人、(本人、(本人、(本人、(本人、(本人、(本人、	を表でるとか。 をなことが、	を表でとか。			

新聞投書欄による発話の対人効果のデータ

	图			0					<u> </u>			0					_						
	靈				L			0	<u> </u>		L								_	L			
	数聚(t) 非温器效果 実質行動效果 內容 行動 形式 調子 コー 土体 銀手 観路 報面 媒体 核独 化			<u> </u>	Ļ				ļ	<u> </u>									_		Ц		
	-	ļ	ļ	ļ	0		0_	00	_	<u> </u>	ļ		L		0	_	0	_		0_		0	
				<u> </u>	ļ			0	0									0	0		-		0
	22		0		_				-		·		0			_	-		L	<u> </u>	Н		
	#		\vdash	├—					-				-			_	\dashv		-				
	문	-	0	<u> </u>	\vdash		_			0			o		-	Н	-		-				
	114		\vdash	 	-						_	-	1		-		-	0	Ö		H		
			\vdash	 	H		\vdash		٥.	-	·	0~			-	-	Н	<u> </u>	\vdash	0 ~.	-		
	器	0	0	0	0	0	0			0	0	0 6	0	0	0	0	$\overline{\cap}$		-	0 ~	o	0	0
	聯	1	-	<u> </u>	Ť					<u> </u>	_	-	Ť		_		Ť		-		Ť		Ŭ
						0	0	0	lo		ĺ	ts.								0			
	野长	\vdash		-	H		\vdash	<u> </u>	<u> </u>							-			⊢	<u> </u>			-
_	超級			1																			
4	-		_	 	0		<u> </u>					0_	-		0_	-	0		L	<u> </u>		0_	
ا	1											ļ											
١Ē	数	+	1	<u> </u>	+	+	+	+	<u></u>	1	1	1	+	1	1	L	1	1	1	1	+	+	1
6						好愁/殺切/好印象/ すきっとした気持ち	6	安塔(助かって)/あ りがたさ(援助)										がっかり(事柄の説 明は丁寧にできるだ けに)					
畎	(A)					亞城	うれしさ/ほのぼの 略	Ç 🗟	1	①恐れ、 ②恐れ?				体の震え/不愉快		l		がっかり(事柄の説 明は丁寧にできるた けに)					
农	思		7			がい	2	5歳	}	0	1		بد	*	10	l			ł		l		3
\prec	効果(抽象		競き(あきれ)	44	うれしさ	が強	10	助さ		کے	みじめさ	4X	感激/励ま	えて	心外/悲しさ	₹U	#4	で発			10	うれしさ	とまどい(?)
忘	_	感動?	机	不愉快	4	變物	₹	海(が)	和縱	發	្ន	不愉快	慈	(O)	140	恥かしさ	不愉快	がった 明は7 けに)	긎	總	うれしさ	7	***
Ë	H	Ei.	報覧	K	5	母母	北原	なか	\$44.		1.6	K	150	47	<u>ٺ</u>	進	K	が明け	##	288	3	<u>ئ</u>	Ŋ
ΉĪ	効果先		相手?、第三者?	柳				*10	≁	○第三巻、◎相手	#			布		#	护						
ćiki Cirki	校	相手	相手?、三者?	第三者	盐	井	相手	第三者	器三器	68	話し手	相手	相手	第三者	相手	語	第三者	相手	相手	華	相手	相手	相手
新聞投書欄による発話の対人効果のデータ	Г			-	-	1	-		-	<u> </u>	(74)	-	-	441	-	ęra.	600		_		-	*	*
77	持行為の方針	△(中立的)	×(対立的)	<u>a</u>	3	£	<u>@</u>	△(中立的) [→○(友好的 [第3巻]]	<u>2</u>	£	<u>8</u>	£	密	<u>&</u>	(£3	8	63	O(友好的)?	〇(友好的)?	<u>@</u>	8	£	£
-0	1	拉	臣	#	亞	空	密	△(中立的) →○(友好 [第3巻]]	Ħ	44	곂	其	拉	¥#	\$\$\f	草	177	拉	西	其	拉	拉	拉
	至	7	×	×	〇(友好的)	〇(友好的)	〇(友好的)	△(中立的) [→○(友好) [第3巻]]	×(対立的)	×(対立的)	×(対立的)	(超母权)×	〇(友好的)	**	×(対立的)	×(対立的)	×(対立的)	Ö	2	×(対立的)	〇(友好的)	〇(友好的)	∑
THE ST	H	-		[動]ないな<感嘆> ×(対立的)	Ĕ	<u> </u>		7-0			<u> </u>	<u> </u>	Ĭ	[動] じまえばいい ×(対立的) んだよ	_	_	^		\vdash	_	\leq		幽罪受入れ拒なにがすみません × (対立的)否だ
豐	述部末尾形式			3		励]ておきます	[勤]いたします		[形]です(断り)	-	_		[動]てください	5	_		^			動]ていません			E.
莊	图	12		42	4	Htu Htu	ێڐ	46	毫	120	4		だ	メ	4		部			116			34 E
	光島	心	泛	3	12	ti E	2	## pu	1	٥	4	22	¿	77 TK	2		5	C.	_	ટ	44	4	4
斑	頖	名]できた	[名]だね	3	動]ましょう	<u>-</u>	- E	[動]ますよ	透	[数]もしない	[名]じゃない	[表] 22	3	[動]じんだよ	[動]やしない	応答	[名]やく方言>	[応答]	[元答]	- F	動 ます	[形]のよ	77.
	┝	_ن	ت	=	Ξ				<u> </u>		ت	<u> </u>		<u> </u>						=		<u>-</u>	なだ
^	200																					ير.	#
<10>	并人的宪器整	英明	友明	発	長明	長明	を 明	長明	英语	新	英语	1000	長明	£133	强	長明	長明					:	3
\sim	菜	製	感想表明	8	題	意志表明	意志装明	迁	意志表明	事実表明	账	事実表明	希望表明	123	8	同意表明	認知表明	년 徐	鑏	称	百二	謝罪受入れ	排
	-	(ボランティアの)活動が楽 感想装明 しくできた	254	政	經	lani	920	(この子=投稿者と)いっし 意志表明よに帰る	lini.	P	(あなたたちの)父さんの母 事実表明 じゃない	PT-	妆	先が短いのだから(車に)ひ 希望表明 かれて死んでしまえばいい	(あなたの子供が)うるさく 状況表明 で聞こえない	10.	20	편.	브	旦	Œ	52	劉を
		ψ.Q		7				2	12	5	9			200	₹ 10								
		圖圖		5				3	13	40	3			苦苦	94					_			2
	蝕	9		÷			10	が と	100	100	×			? ₩ £	3					3	10		Š
	证部内容	1		語っ	いる	42	4.4	經	體(8	<u>ē</u>		10	ながら	単く	23				3	±0.	Ŕ	4
	熖	チは		5 4	ğΩ.	影	18	¥	10 4	ž	た ~	l	4,	63	45	16.	Q-	_		<u>.</u>	£)(3	42	55
		(ボランディ)		~物	4	#	王	子の	190	掘	次数	Ě	¥	商り	式以	7	3	うん		冷間	본	Ü	\$
		*3	暇だ	枚調くまで出 回も踏わない	あなたを信じる	調べて掲示する	一円玉をあずかる	(この子= よに帰る	(あなたの路器りは)いい(=いらない)	足を踏んだのに割らない	(あなたた じゃない	OOH1	早くよくなる	先が短いのだから(単に)ひ かれて死んでしまえばいい	(あなたの子側 て聞こえない	そうだそうだ	ガイジンや	うんうん	うん	はしを置いていない	(あなたを)賞する	ž	(何にもならない)(?)
	-			(あなたの)だんな 夜遠くまで出かけていても 感想表明 の 何も智わない	-	V-04	<u> </u>	-	Ť			<u> </u>		~7 N	J ,-		^	•	-		H	あなたが(汚れを) いい(=十分だ) 扱くことが	
	847			3																	П	なな	**
	N.	.		(i)								4		્ર								E's	t a
	主部内容	52	42	ΙĔ	١.					3		浜	3	76:						五が		ž V	6,5
	l'''	私たちが	あなたが	ある	和が	私が	私が	私が	私が	あなたが	和が	(払い戻しが)	あなたが	(年寄りが)	私が					私の店が	私が	もなたが(だなく)	あなたの「すみま せん」が(?)
	L									+6'						εx	ø	€.	હ		_		
		202	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	-912	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226